Giving Shape to Ideas

KONICA MINOLTA

bizhub 36

ユーザーズガイド　コピー機能編



もくじ

1 はじめに

1.1 ご挨拶 ... 1-2
1.1.1 マニュアル体系について ... 1-2
1.1.2 ユーザーズガイドについて ... 1-2
1.2 ページの見かた ... 1-3
1.2.1 本文中の記号について ... 1-3
安全にお使いいただくために ... 1-3
手順文について ... 1-3
キー記号について ... 1-4
1.2.2 原稿と用紙の表示について ... 1-4
原稿と用紙の大きさ ... 1-4
原稿と用紙の表示 ... 1-4

2 各部の名称とはたらき

2.1 オプション構成 ... 2-2
2.2 本体 ... 2-3
2.2.1 本体外部（前面）... 2-3
2.2.2 本体外部（背面）... 2-4
2.2.3 本体内部 ... 2-5
2.2.4 操作パネル ... 2-6
操作パネルの角度のかえかた ... 2-7
2.2.5 タッチパネル ... 2-8
2.3 オプション ... 2-10
フィニッシャー FS-529 ... 2-10

3 本機を使用する

3.1 電源の入れかた／切りかた ... 3-2
3.2 コピーの基本操作 ... 3-3
3.2.1 原稿をセットする ... 3-3
ADF に原稿をセットする ... 3-3
原稿ガラスに原稿をセットする ... 3-4
3.2.2 基本的なコピー操作 ... 3-4
3.2.3 複数の機能を組合わせたコピー操作 ... 3-5
組み合わせができない機能について ... 3-6
3.3 ヘルプ ... 3-7

4 操作パネルのキーについて

操作パネルのキーとはたらき ... 4-2
4.1 スタート、ストップ、リセット、クリア、パワーセーブについて ... 4-4
スタート ... 4-4
ストップ ... 4-4
リセットについて ... 4-4
C（クリア）について ... 4-4
パワーセーブについて ... 4-4
4.2 コピー、フォルダ、E-mail、ファクスについて ... 4-6
コピー ... 4-6
フォルダ ... 4-6
E-mail ... 4-6
ファクス ... 4-7
4.3 設定メニュー / カウンターについて ... 4-8
ユニバーサル設定について ... 4-9

4.4 プログラムについて 4-11
4.5 ID について 4-12
ユーザー / 部門ごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証 / 部門認証） 4-12
4.6 割込み 4-14

5 コピー機能

5.1 ［読込みサイズ］ 5-3
混載原稿をコピーする 5-3
5.2 ［用紙設定］ 5-4
不定形サイズを設定する 5-5
5.3 ［倍率設定］ 5-6
5.4 ［片 / 両面 集約］ 5-7
5.5 ［濃度］ 5-9
5.6 ［原稿画質］ 5-10
5.7 ［仕上り］ 5-11
5.8 ［確認コピー］ 5-13
5.9 ［連続読込み設定］ 5-14
5.10 ［ID コピー］ 5-15
5.11 ［とじしろ］ 5-17
5.12 ［画質調整］ 5-18
5.13 ［設定内容］ 5-19
5.14 ［ジョブ］ 5-20

6 ［ユーザー設定］

6.1 ［環境設定］ 6-3
6.2 ［コピー設定］ 6-5
6.3 ［スキャン設定］ 6-6
6.4 ［プリンター設定］ 6-7
6.5 ［ファクス設定］ 6-8

7 メンテナンス

7.1 用紙について 7-2
7.1.1 用紙を確認する 7-2
補給メッセージ 7-2
用紙使用上の注意 7-2
用紙の保管 7-2
7.1.2 用紙をセットする 7-3
トレイ 2/ トレイ 3/ トレイ 4/ トレイ 5 へ用紙をセットする 7-3
トレイ 1（手差しトレイ）へ用紙をセットする 7-4
7.2 消耗品について 7-6
消耗品の確認 7-6
7.2.1 交換メッセージ 7-6
7.2.2 消耗品の状態を確認する 7-8
7.3 印刷枚数について 7-9
セールスカウンターを確認する 7-9
総印刷ページ数を確認する 7-9
7.4 清掃のしかた 7-10
スリットガラス 7-10
原稿ガラス、操作パネル、給紙ローラー 7-10
外装カバー、原稿押さえパッド 7-11

8 トラブル処理

8.1 トラブルが検出されたら（サービスコール） 8-2
処理できないトラブルについて 8-2

8.2 トラブルリスト 8-3
簡単なトラブル処理 8-3
おもなメッセージと処理のしかた 8-6
タッチパネル内で表示されるアイコンについて 8-9

9 認証装置

9.1 認証装置の使い方 9-2
本機へのログイン 9-2
IC カードによる認証のしかた 9-3
IC カード＋パスワードによる認証のしかた 9-4

10 仕様

10.1 用紙について 10-2
用紙種類および用紙容量 10-2

10.2 本体仕様 10-3
bizhub 36 10-3
自動両面ユニット 10-4
自動両面原稿送り装置 10-4

10.3 オプション仕様 10-5
給紙キャビネット PC-211 10-5
フィニッシャー FS-529 10-6
認証装置 AU-201 10-7

11 付録

11.1 用語集 11-2

12 索引

12.1 項目別索引 12-2
12.2 キー索引 12-4

1 はじめに

1 はじめに

1.1 ご挨拶

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

このユーザーズガイドには、本機の機能と操作方法、使用上のご注意、簡単なトラブルの処理方法などについて記載しています。本機の性能を十分に発揮させて、効果的にご利用いただくために、必要に応じてこのユーザーズガイドをお読みください。

1.1.1 マニュアル体系について

印刷物のマニュアル	概要
[すぐに使える操作ガイド]	すぐに本製品をご利用いただけるよう、使用頻度の高い機能や操作方法を紹介しています。
[安全にお使いいただくために]	本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい注意事項とお願いを記載しています。 製品のご使用前に必ずお読みください。

ユーザーズガイド CD 収録のユーザーズガイド	概要
[ユーザーズガイド コピー機能編]	コピーの機能や本機の設定について記載しています。 · 原稿、コピー用紙の仕様 · コピー機能 · 本機のメンテナンス · トラブルの対処方法
[ユーザーズガイド プリンター機能編]	プリンター機能について記載しています。 · プリンター設定および操作 · プリンタートラブルの対処方法
[ユーザーズガイド スキャン機能編]	スキャン機能について記載しています。 · スキャン設定および操作 · スキャントラブルの対処方法
[ユーザーズガイド ファクス機能編]	ファクス機能について記載しています。 · ファクス設定および操作 · ファクストラブルの対処方法
[ユーザーズガイド 管理者機能編]	本機管理者が使用する機能や設定について記載しています。 · **操作パネル**での設定 · PageScope Web Connection での設定
[商標 / ライセンスについて]	商標およびライセンスについて記載しています。 · 商標、著作権について

1.1.2 ユーザーズガイドについて

このユーザーズガイドは、本機を初めてご利用になるお客様から本機を管理する管理者までを対象としています。

本機の基本的な操作方法、より便利にお使いいただくための機能、メンテナンス方法、簡単なトラブルの対処方法、その他本機のさまざまな設定方法について説明しております。

なお、メンテナンスやトラブルの対処には、製品についての基本的な技術知識が必要です。メンテナンスやトラブルの対処は、本書で説明している範囲内で行ってください。

お困りの際には、サービス実施店にご連絡ください。

1.2 ページの見かた

1.2.1 本文中の記号について

本書では、様々な情報を記号で記載しています。

ここでは、製品を正しく安全にお使いいただくために、本書で使用している記号について説明します。

安全にお使いいただくために

⚠ **警告**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ **注意**

- この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容及び物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

重要
本機や原稿に損害をあたえる可能性が想定される内容を示しています。
物的損害を避けるために指示に従ってください。

手順文について

✔ このチェック記号は、手順の前提となる条件や機能を使用するときに必要なオプションを説明しています。

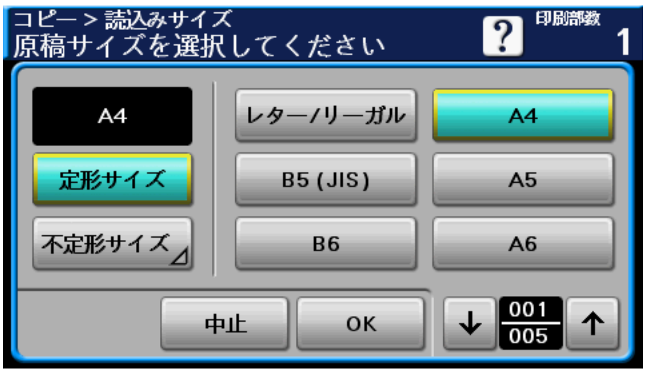
1 このスタイルの 1 は、最初の手順を表します。

2 このスタイルの番号は、連続する手順の順番を表します。

➔ この記号は、手順文の補足的な説明を表します。

手順の動作を
イラストで
表しています。

→ この記号は、目的のメニューにアクセスする**操作パネル**の遷移を表します。



目的の画面を表示しています。

参照
参照先を表しています。

必要に応じてごらんください。

キー記号について

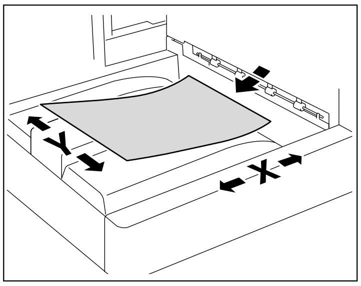
[ ]
タッチパネル上のキー名称、コンピューター画面上のキー名称、ユーザーズガイド名称などを表します。

文中の太字
操作パネル上のキー名称、部品名称、製品名、オプション名などを表します。

1.2.2　原稿と用紙の表示について

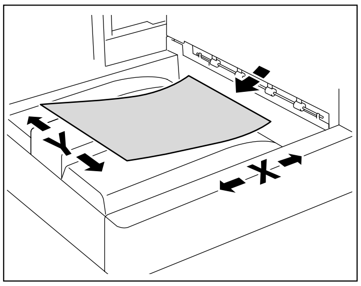
原稿と用紙の大きさ

本文中に出てくる原稿と用紙の表示について説明します。
原稿と用紙の大きさを表す場合、Y 辺を幅、X 辺を長さと呼びます。

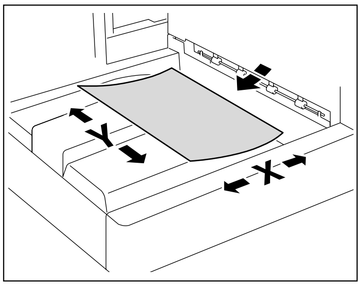


原稿と用紙の表示

幅（Y）よりも長さ（X）のほうが大きいものを と表示します。



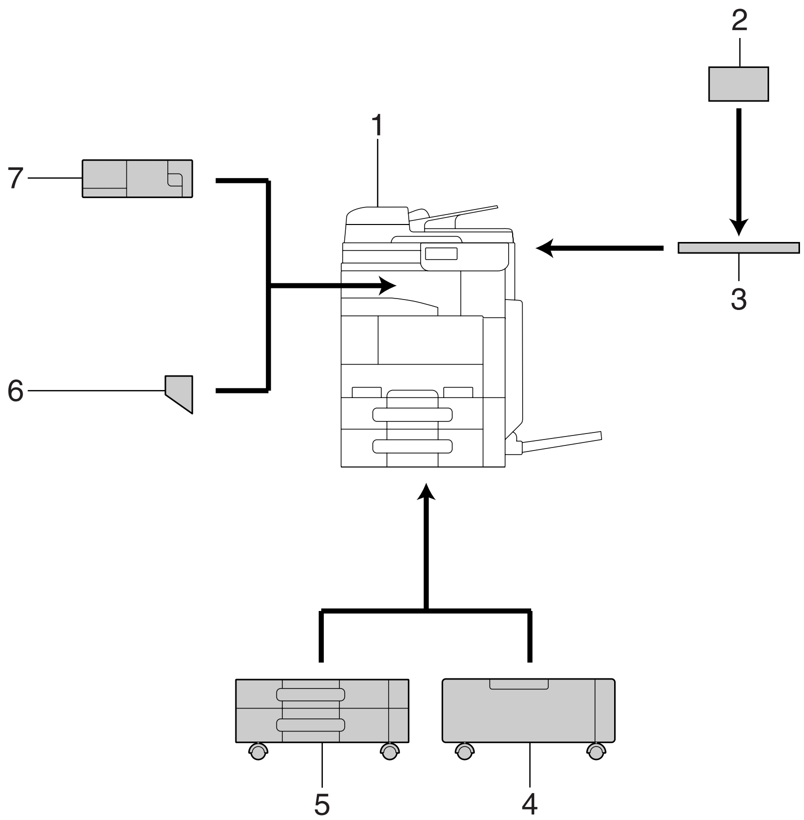
幅（Y）よりも長さ（X）のほうが小さいものを と表示します。



2 各部の名称とはたらき

2 各部の名称とはたらき

2.1 オプション構成

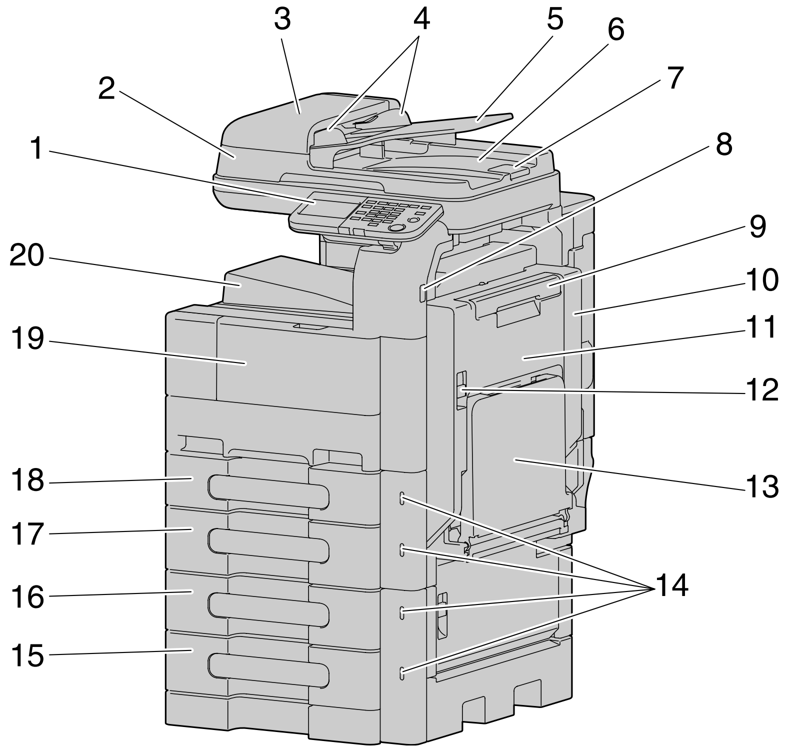


No.	名称	説明
1	本体部	スキャナー部で原稿が読込まれ、読取った画像がプリンター部で印刷されます。 以降本文中では本機、本体、bizhub 36 と呼びます。
2	**認証装置 AU-201**	IC カードに記録された情報を読取ってユーザー認証を行うことができます。 **認証装置** AU-201 を設置するには、**ワーキングテーブル** WT-510 が必要です。 以降本文中では**認証装置**と呼びます。
3	**ワーキングテーブル** WT-510	原稿などを一時的に置くことができます。また、認証装置を設置する場合にも使用します。
4	**専用デスク** DK-511	**専用デスク**を使用することにより、本機をフロアに設置できます。 以降本文中では**専用デスク**と呼びます。
5	**給紙キャビネット** PC-211	上段・下段に各 500 枚までの用紙をセットできます。 以降本文中では **2 段給紙キャビネット**と呼びます。
6	**取り付けキット** MK-601	**フィニッシャー** FS-529 を取付ける場合に必要です。
7	**フィニッシャー** FS-529	本体の排紙トレイに装着すると、印刷された用紙をソート、グループ、ステープルとじして排紙できます。
以下のオプションは、本機に内蔵されるため図解してありません。		
8	FAX キット FK-509	本機をファクス機として使用できます。また、電話回線を開設することができます。

2.2 本体

2.2.1 本体外部（前面）

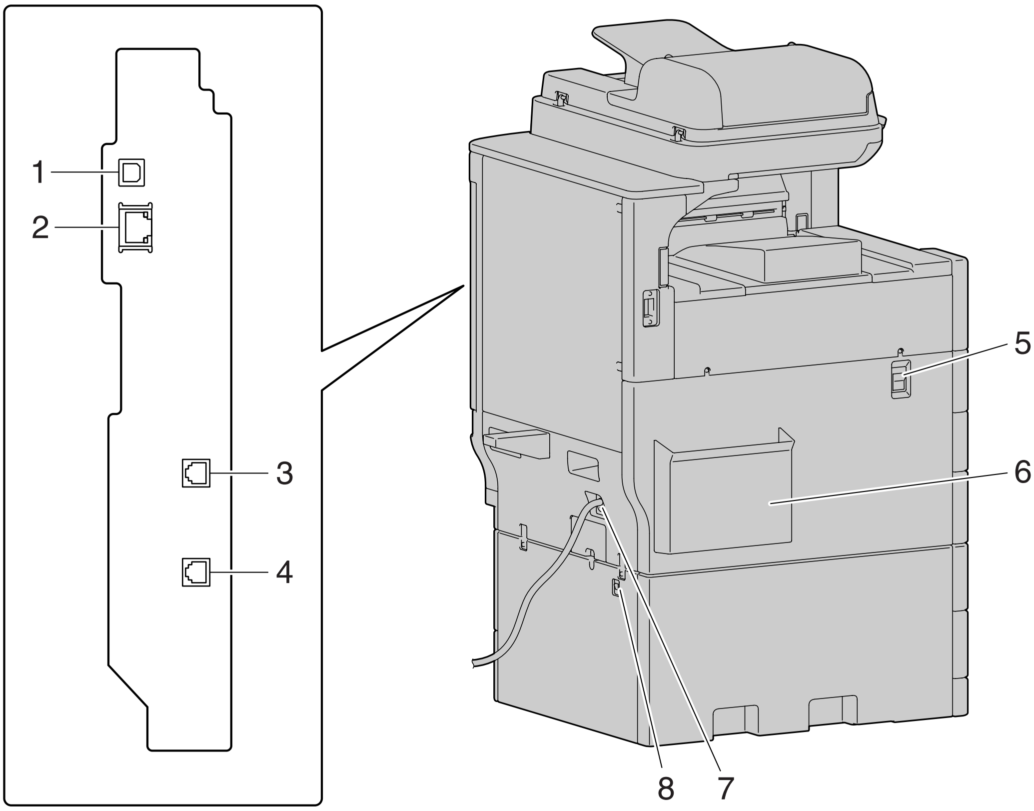
本図は本体にオプションの給紙キャビネット PC-211 を装着しています。



No.	名称
1	操作パネル
2	自動両面原稿送り装置（ADF）
3	ADF カバー
4	ガイド板
5	原稿給紙トレイ
6	原稿排紙トレイ
7	原稿ストッパー
8	USB ポート（タイプ A）USB2.0
9	自動両面ユニットロック解除レバー
10	右上ドア
11	自動両面ユニット
12	右上ドア解除レバー
13	トレイ 1（手差しトレイ）
14	用紙エンプティーランプ
15	トレイ 5
16	トレイ 4
17	トレイ 3
18	トレイ 2
19	前ドア
20	排紙トレイ

2.2.2 本体外部（背面）

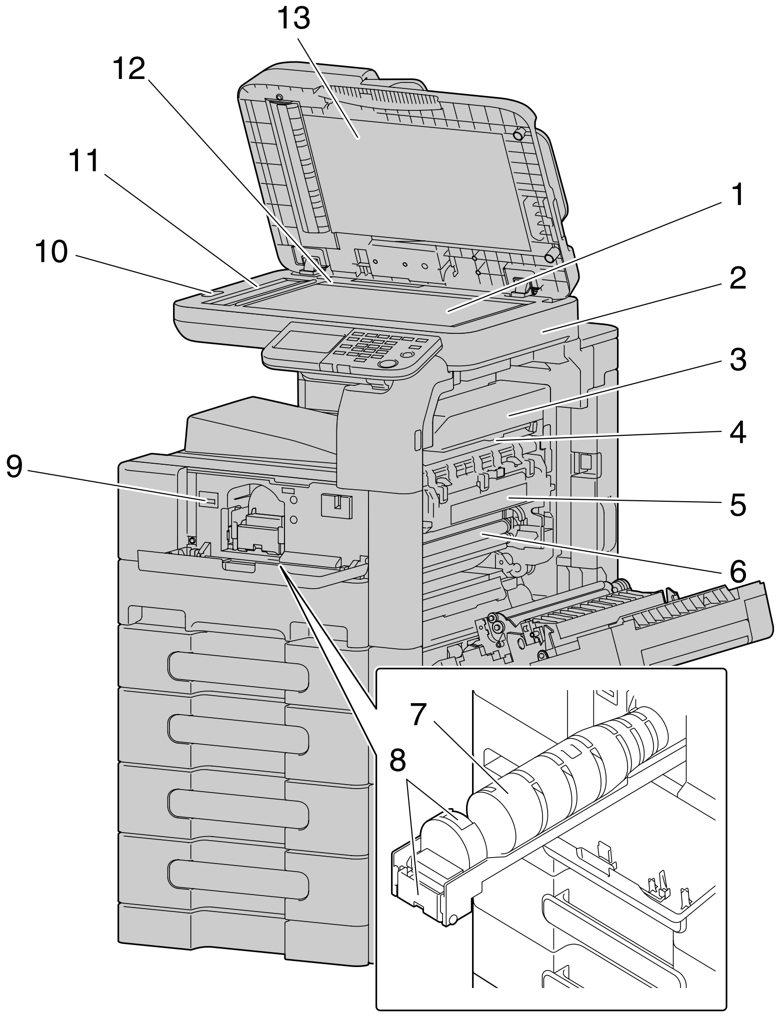
本図は本体にオプションの給紙キャビネット PC-211、FAX キット FK-509 を装着しています。



No.	名称
1	USB ポート（タイプ B）USB2.0
2	ネットワーク用ポート（10 Base-T/100 Base-TX/1000 Base-T）
3	回線コネクター（LINE）
4	外付け電話機接続用コネクター（TEL）
5	電源スイッチ
6	マニュアルホルダー
7	電源コード
8	除湿ヒーター電源スイッチ

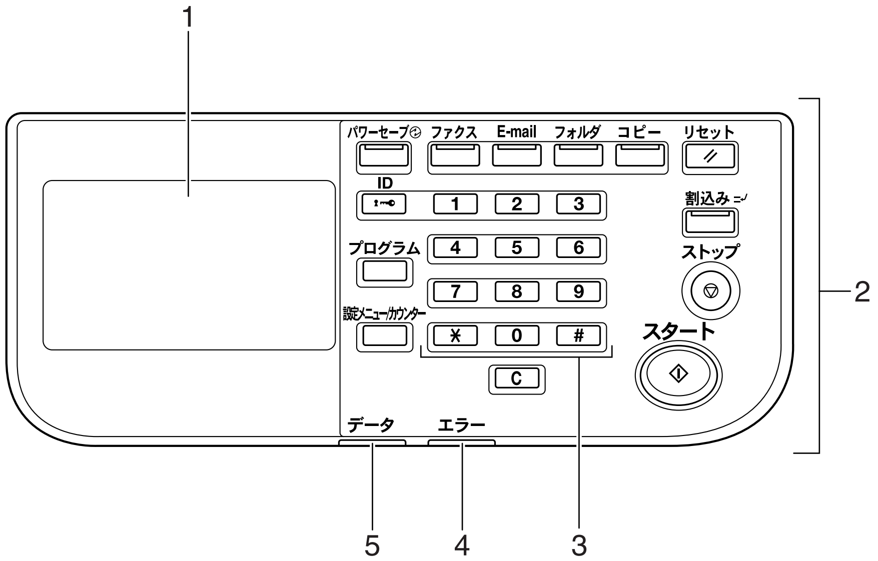
2.2.3 本体内部

本図は本体にオプションの**給紙キャビネット** PC-211 を装着しています。



No.	名称
1	原稿ガラス
2	スキャナユニット
3	定着ユニット上カバー
4	定着カバーレバー
5	定着ユニット
6	ドラムユニット
7	トナーボトル
8	ロック解除レバー
9	トータルカウンター
10	スキャナロックレバー
11	スリットガラス
12	原稿スケール
13	原稿押さえパッド

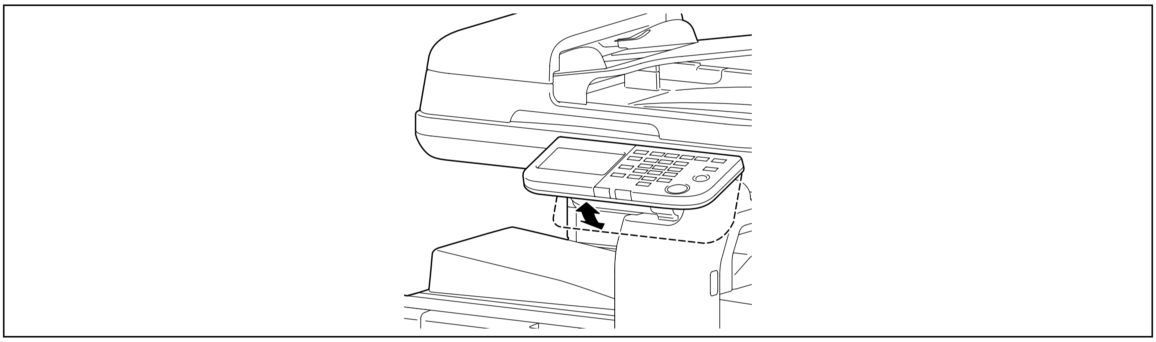
2.2.4 操作パネル



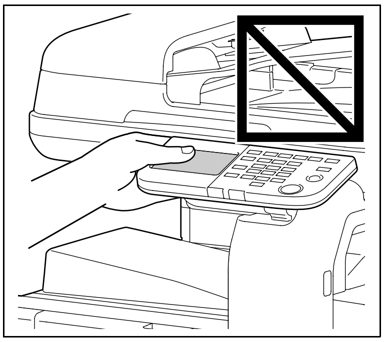
No.	名称
1	タッチパネル
2	機能キー
3	テンキー
4	エラーランプ
5	データランプ

操作パネルの角度のかえかた

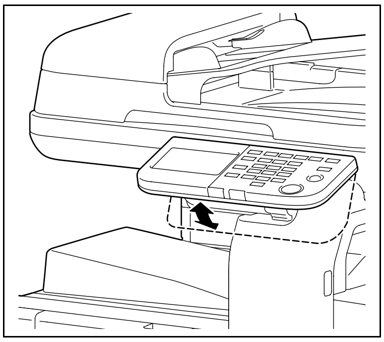
本機の**操作パネル**を上下に動かして、お好みの角度に設定できます。使いやすい位置を選んでご使用ください。



重要
操作パネルを傾ける場合に**タッチパネル**を持っての移動は行わないでください。



➔ **操作パネル**の前側中央部を持ち、**操作パネル**を上下に動かします。



2.2.5　タッチパネル

電源を入れてコピー可能な状態になると、ホーム画面が表示されます。画面内に表示されたキーを指で軽く押すことにより、表示された機能やモードを選択できます。

重要

タッチパネルに強い力を加えると、**タッチパネル**に傷が付いて破損の原因となります。**タッチパネル**を強く押したり、先のとがったシャープペンシルなどで押さないでください。

ホーム画面



No.	名称
1	メッセージ表示エリア
2	ファクス（FAX キット FK-509 が装着され、ファクス機能が有効な場合に表示されます）
3	E-mail 送信
4	ファイル送信
5	ヘルプ
6	コピー
7	USB/HDD
8	アイコン表示エリア
9	状態
10	ジョブ
11	トナー残量表示

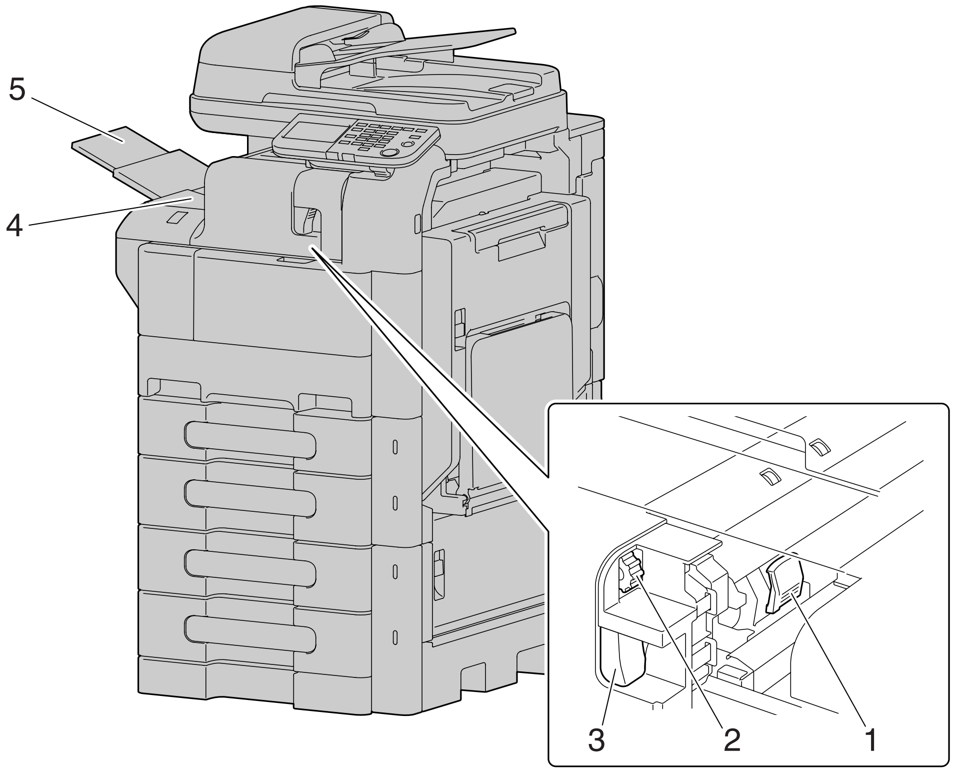
コピー画面



No.	名称
1	コピー枚数
2	コピーモードの設定機能
3	設定内容
4	ホーム

2.3 オプション

フィニッシャー FS-529



No.	名称
1	ステープルホルダー
2	紙づまり処理ダイアル
3	ロック解除レバー
4	排紙トレイ
5	補助トレイ

3 本機を使用する

3　本機を使用する

3.1　電源の入れかた／切りかた

電源スイッチは、本機の全ての機能に対して ON/OFF します。通常（日常）、**電源スイッチ**は ON の状態にしておきます。

✔ **電源スイッチ**を ON にすると、**スタート**がオレンジ色に点灯し、起動中を表す画面が表示されます。数秒後、メッセージが［ウォームアップ中です］に切換わり、**スタート**が青色に点灯すると、ジョブの予約を受け付けることができます。

✔ **電源スイッチ**を ON にしたあとのウォームアップ中でも、ジョブを予約できます。ウォームアップ完了後に、読込んだ画像が印刷されます。

✔ 電源を ON にしてから**操作パネル**、**タッチパネル**で設定をする前の状態、または**リセット**を押して**操作パネル**、**タッチパネル**で入力した設定を取消した状態を初期設定と呼びます。初期設定は変更することができます。

✔ 登録されたジョブや、蓄積されたジョブの印刷待機中に**電源スイッチ**を OFF にしないでください。印刷されていないジョブは削除されてしまいます。

✔ **電源スイッチ**を OFF にすると、登録されていない設定と印刷待機中のジョブが取消されます。

✔ **電源スイッチ**を OFF したあとに、すぐに ON する場合は、電源を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。間隔をあけないと、正常に機能しないことがあります。

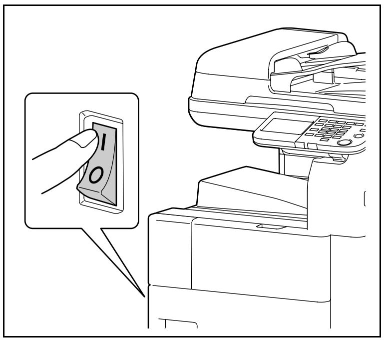
✔ 画像の読込み中や、送受信中に**電源スイッチ**を OFF にしないでください。読込み中のデータや、通信中のデータは削除されてしまいます。

✔ 印刷中に**電源スイッチ**を OFF にしないでください。紙づまりをおこします。

✔ 本機管理者によってオートパワー OFF 機能が設定されていると、管理者が指定した時刻に本機の**電源スイッチ**が自動的に OFF になります。再度本機を使用するには**電源スイッチ**を ON にしてください。詳しくは、本機管理者にご確認ください。

1 電源を入れる場合は、**電源スイッチ**の | を押します。

タッチパネルの表示を確認します。



2 電源を切る場合は、**電源スイッチ**の ○ を押します。

参照

コピーの初期設定を変更するには：

設定メニュー / カウンター ►►［ユーザー設定］►►［コピー設定］►►［コピー初期設定］を押します。

3.2 コピーの基本操作

ここでは、原稿のセット方法とコピーの基本操作について説明します。

3.2.1 原稿をセットする

原稿は ADF または**原稿ガラス**にセットします。原稿の種類に合わせて最適な原稿セットを行ってください。

- ADF の場合、複数枚の原稿の上から自動的に 1 枚ずつ送り出し、読込みます。両面原稿も読込むことができます。
- **原稿ガラス**の場合、原稿を**原稿ガラス**に直接セットして読込みます。本などの ADF にセットできない原稿を読込むのに適しています。

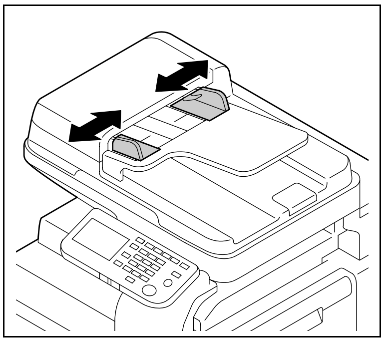
原稿をセットしたあと、必要に応じて各機能を設定します。

ADF に原稿をセットする

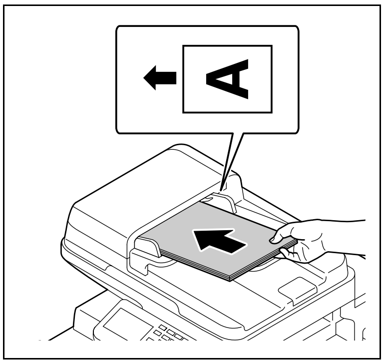
以下のような原稿は、原稿づまりや原稿破損の原因となるため、ADF にはセットしないでください。

- しわ、折れ、カール、破れなどのひどい原稿
- OHP フィルム、第 2 原図などの透明度の高い原稿
- カーボン紙などの表面がコーティング処理された原稿
- 坪量 50 g/m^2 未満、128 g/m^2 を超える原稿
- クリップ、ステープルなどでとじられた原稿
- 本など製本されている原稿
- のりなどで貼り合わせてある原稿
- 切取りや切抜きのある原稿
- ラベル用紙
- オフセットマスター
- とじ穴の開いた原稿
- 本機で印刷した直後の原稿
- 写真印画紙
- 光沢塗工紙等の光沢原稿

1 **ガイド板**を原稿のサイズに合わせます。



2 原稿の表面を上にして、原稿を読込み順に**原稿給紙トレイ**へセットします。原稿の天部（上側）が左側になるようにします。



➔ 1 度にセットする原稿は 50 枚以内とし､なおかつ ▼ マークを超えてセットしないでください。原稿づまりや原稿破損の原因となります。また、故障の原因となります。ただし、原稿が 50 枚を超える場合でも、原稿を分割して読込ませることができます。

➔ 原稿のセットが不完全な場合、原稿が斜め送りされ、原稿づまりや原稿破損の原因となります。

➔ 原稿の天部（上側）が左側以外になる向きでセットした場合は、必ず原稿のセット方向を設定してください。

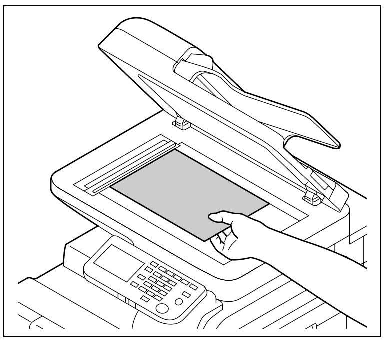
➔ 原稿は通紙方向に対して、必ず ◘ 方向になるようにセットしてください。

3 **ガイド板**を原稿に沿わせます。

原稿ガラスに原稿をセットする

✔ 原稿ガラスには 3 kg を超えるような重い原稿は載せないでください。また本の見開き原稿などをセットする場合、強い力で上から押さえつけないようにしてください。故障の原因となります。

✔ 原稿が厚い本や立体物である場合は、ADF を閉じずに読込みを行ってください。ADF を閉じずに読込みを行った場合、光が漏れることがありますので、**原稿ガラス**を直視しないようにしてください。ただし、漏れ出る光はレーザー光線ではありませんので、レーザーの危険にさらされることはありません。



1 ADF を開きます。

2 原稿の表面を下にして、原稿を**原稿ガラス**にセットします。

➔ 原稿の天部（上側）が左側になるようにします。

3 原稿を**原稿スケール**の左奥側の マークに合わせてセットします。

➔ 透明度の高い原稿をセットする場合、原稿と同じサイズの白紙を原稿の上に重ねます。

➔ 本や雑誌などのとじてある見開き原稿をセットする場合、原稿の天部（上側）を奥側にして原稿を置き、**原稿スケール**の左奥側の マークに合わせます。

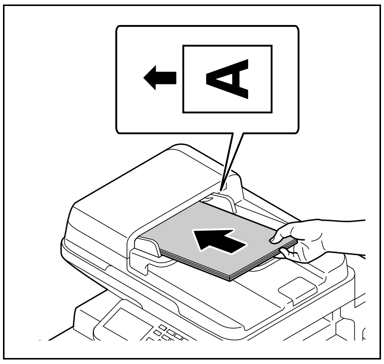
➔ 原稿の天部（上側）が左側以外になる向きでセットした場合は、必ず原稿のセット方向を設定してください。

4 ADF を閉じます。

3.2.2 基本的なコピー操作

ここでは、基本的な操作でコピーする方法を説明します（片面→片面、等倍の場合）。

✔ 本機は読込む原稿のサイズを自動検知しません。原稿を読込む前に原稿サイズの設定をしてください。原稿サイズを正しく設定しないと、画像が欠ける場合があります。原稿サイズの設定について詳しくは、5-3 ページをごらんください。



1 原稿の表面を上にして、原稿を読込み順に ADF にセットします。

➔ **原稿ガラス**に原稿をセットする場合は、原稿の表面を下にしてセットします。

2 ［コピー］または**コピー**を押します。

➔ ホーム画面のまま**スタート**を押すと、「コピー初期設定」の設定で 1 枚のコピーができます。

3 **テンキー**でコピー部数を入力します。

➔ コピー部数を間違えて入力した場合は、C（クリア）を押してもう 1 度入力しなおしてください。

4 **スタート**を押します。

原稿が読込まれコピーされます。

➔ コピーを中断したい場合は、**ストップ**を押してください。

3.2.3　複数の機能を組合わせたコピー操作

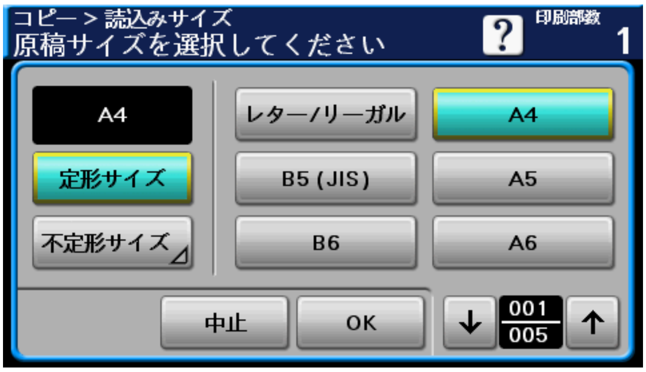
ここでは、複数の機能を組合わせたコピー操作について説明します。

1　原稿をセットします。

2　［コピー］または**コピー**を押します。

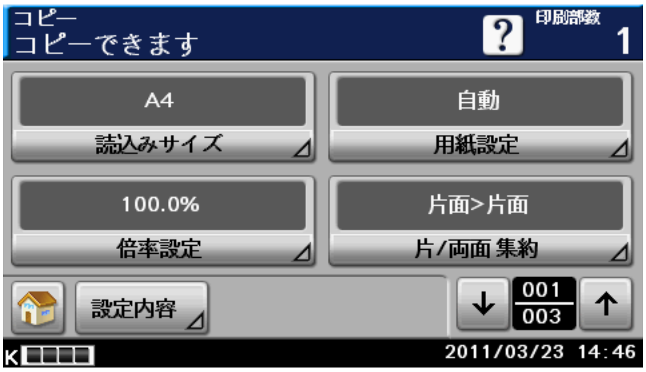
3　［読込みサイズ］を押します。

➔［読込みサイズ］については、5-3 ページをごらんください。



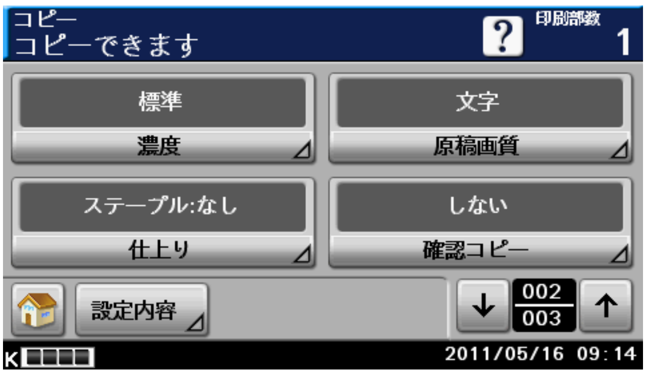
4　必要に応じて、各機能を設定してください。

➔［用紙設定］については、5-4 ページをごらんください。
➔［倍率設定］については、5-6 ページをごらんください。
➔［片 / 両面 集約］については、5-7 ページをごらんください。



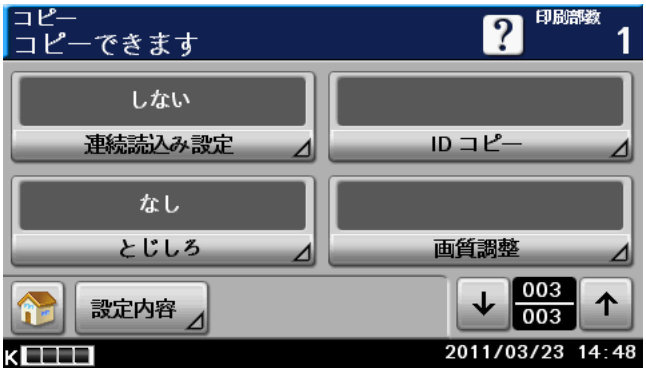
5　［↓］を押して、［2/3］を表示して、各機能を設定してください。

➔［濃度］については、5-9 ページをごらんください。
➔［原稿画質］については、5-10 ページをごらんください。
➔［仕上り］については、5-11 ページをごらんください。
➔［確認コピー］については、5-13 ページをごらんください。



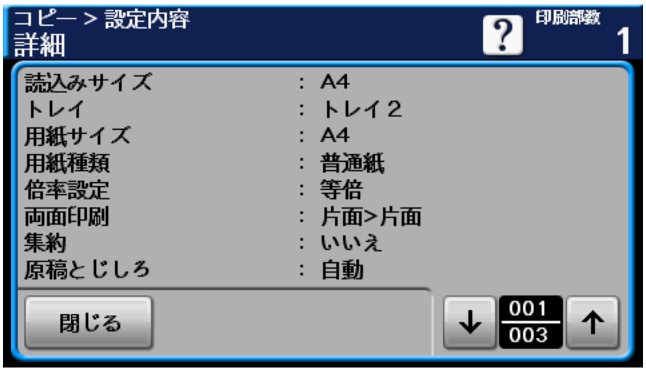
6 ［↓］を押して、［3/3］を表示して、各機能を設定してください。

➔ ［連続読込み設定］については、5-14 ページをごらんください。
➔ ［ID コピー］については、5-15 ページをごらんください。
➔ ［とじしろ］については、5-17 ページをごらんください。
➔ ［画質調整］については、5-18 ページをごらんください。



7 ［設定内容］を押します。

➔ ［設定内容］については、5-19 ページをごらんください。



8 **テンキー**でコピー部数を入力します。

➔ コピー部数を間違えて入力した場合は、**C**（クリア）を押してもう 1 度入力しなおしてください。

9 **スタート**を押します。

原稿が読込まれコピーされます。

➔ コピーを中断したい場合は、**ストップ**を押してください。
➔ 現在のジョブの印刷中に、［コピーできます］と表示されたら、次の原稿の読込むことができます。

組み合わせができない機能について

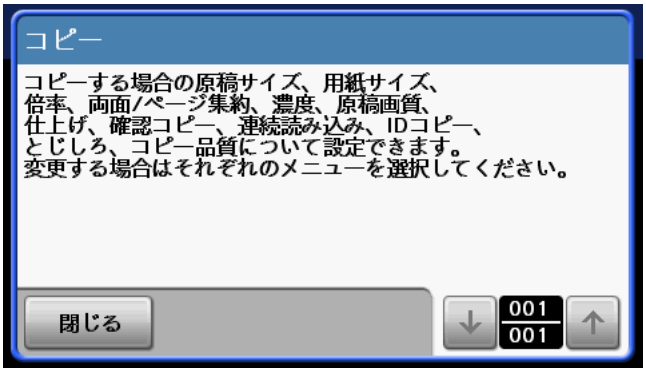
各機能には組合わせて設定できないものがあります。組合わせできない操作を行った場合の動作には、以下の 2 種類があります。

- あとから設定したものが優先される。（先に設定したものは解除される）
- 先に設定したものが優先される。（警告メッセージが表示される）

3.3　ヘルプ

各機能の説明や操作方法を画面上に表示して確認できます。［？］を押すと、表示している画面に対するヘルプ画面を表示します。詳しくは、［すぐに使える操作ガイド］をごらんください。

➔ ［？］を押します。



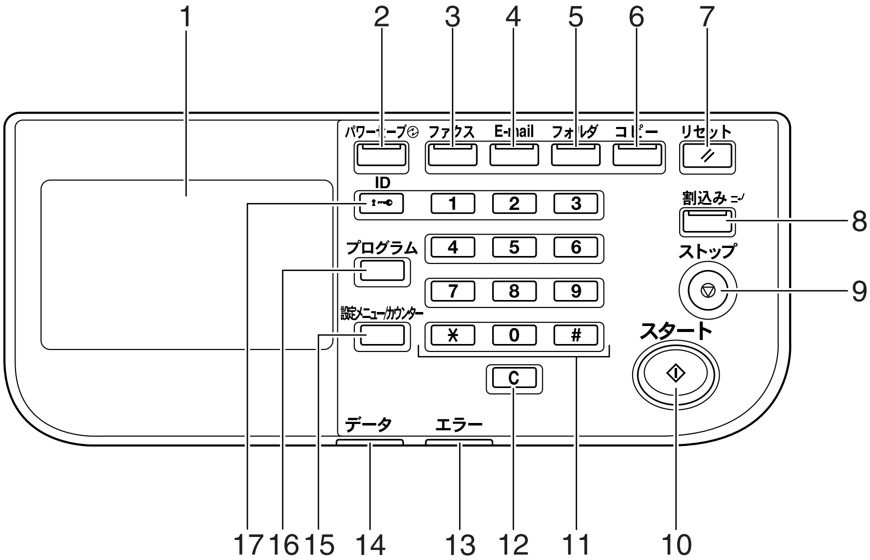
4 操作パネルのキーについて

4 操作パネルのキーについて

操作パネルのキーを押して使用できる機能を説明します。

操作パネルのキーとはたらき

操作パネルのキーを押して、コピー、フォルダ、E-mail、ファクスなどの各機能を使用することができます。



No.	名称	説明	ページ
1	タッチパネル	各設定画面やメッセージが表示されます。**タッチパネル**に直接タッチして各設定を行うことができます。	−
2	パワーセーブ	スリープモードに切換わります。スリープモード時はランプが緑色に点灯し、**タッチパネル**の表示が消えます。スリープモード時に**パワーセーブ**を押すと、スリープモードは解除されます。	p. 4-4
3	ファクス	ファクス機能に切換わります。ファクス機能中は**ファクス**が緑色に点灯します。 FAX キット FK-509 が装着され、ファクス機能が有効な場合に使用します。 ファクス機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] をごらんください。	p. 4-7
4	E-mail	E-mail 送信機能に切換わります。E-mail 送信機能中は **E-mail** が緑色に点灯します。 E-mail 送信機能について詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編] をごらんください。	p. 4-6
5	フォルダ	ファイル送信機能に切換わります。ファイル送信機能中は**フォルダ**が緑色に点灯します。 ファイル送信機能について詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編] をごらんください。	p. 4-6
6	コピー	コピー機能に切換わります。コピー機能中は**コピー**が緑色に点灯します。	p. 4-6
7	リセット	**操作パネル**、または**タッチパネル**で入力した設定(登録した設定は除く)をリセットできます。	p. 4-4
8	割込み	割込み機能に切換わります。割込み機能中は**割込み**が緑色に点灯します。割込み機能中に**割込み**を押すと割込み機能を解除できます。	p. 4-14

No.	名称	説明	ページ
9	**ストップ**	コピー、スキャン、印刷中に動作を一時停止できます。	p. 4-4
10	**スタート**	コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始できます。	p. 4-4
11	**テンキー**	部数の設定ができます。倍率の入力ができます。各種の設定値の入力ができます。	−
12	**C**（クリア）	**テンキー**で入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消すことができます。	p. 4-4
13	**エラーランプ**	エラー発生時はオレンジ色に点滅します。サービス実施店への連絡が必要なエラー発生時は、オレンジ色に点灯します。	−
14	**データランプ**	印刷ジョブを受信中は、青色に点滅します。印刷ジョブが印刷待ち、および印刷中は、青色に点灯します。	−
15	**設定メニュー / カウンター**	［設定メニュー］画面に切換わります。 ［設定メニュー］画面では、［ユニバーサル設定］、［セールスカウンター］、［宛先登録］、［ユーザー設定］、［管理者設定］の各設定や確認ができます。	p. 4-8
16	**プログラム**	目的のコピー / ファクス / スキャン機能の条件を登録（書込み）したり、登録した条件を呼出すことができます。	p. 4-11
17	**ID**	ユーザー認証または部門認証を設定している場合、ユーザー名とパスワード（ユーザー認証）、部門名とパスワード（部門認証）を入力したあとに **ID** を押すと本機が使用できるようになります。 また、ログイン状態からログアウトし、認証画面に戻ります。	p. 4-12

4.1 スタート、ストップ、リセット、クリア、パワーセーブについて

スタート

➔ コピー、スキャン、ファクスなどの動作を開始します。

一時停止中のジョブを再開します。

- ➔ 本機が動作を開始できる状態のときは**スタート**が青色に点灯します。**スタート**がオレンジ色に点灯しているときはコピーを開始できません。（**タッチパネル**に警告やメッセージが表示されていないか確認してください）

ストップ

➔ コピー、スキャン、印刷中に**ストップ**を押すと、動作を一時停止できます。

- ➔ 一時停止したジョブを再開する場合は**スタート**を押します。
- ➔ 一時停止したジョブを削除する場合は、停止中ジョブ画面で削除するジョブを選択し、［削除］を押します。

リセットについて

操作パネル、または**タッチパネル**で入力した設定（登録した設定は除く）をリセットできます。

➔ **リセット**を押します。

各設定画面が表示されます。

C（クリア）について

テンキーで入力した数値（コピー部数、倍率、サイズなど）を取消すことができます。

➔ C（クリア）を押します。

入力されていた数値は削除されます。正しい数値を入力してください。

パワーセーブについて

本機には消費電力の低減のために、以下の節電モードがあります。

名称	移行条件
低電力モード	管理者設定の［低電力設定］が［する］に設定され、かつ本機の操作が行われない状態で［低電力移行時間設定］の設定時間が経過した場合
スリープモード	· 本機の操作が行われない状態で、管理者設定の［スリープ時間設定］の設定時間が経過した場合 · **パワーセーブ**を押した場合

✔ スリープモードは低電力モードよりも節電効果が得られますが、再度コピーを行うためのウォームアップに時間がかかります。

✔ 低電力モード、スリープモードの出荷時設定は、1 分に設定されています。低電力モードとスリープモードで同じ時間が設定されている場合は、スリープモードが優先されます。

✔ 低電力モードへの移行時間が、スリープモードへの移行時間より短い場合は、スリープモードの移行時間になると、低電力モードからスリープモードに移行します。

✔ 低電力モードへの移行時間が、スリープモードへの移行時間より長い場合は、スリープモードが優先されます。低電力モードの移行時間になっても、スリープモードから低電力モードへは移行しません。

✔ 本機は、低電力モード、スリープモード中でもジョブ（PC プリント、ファクス受信）を受け付けることができます。スリープモード中に限り、ジョブ（PC プリント、ファクス受信）処理終了後に再度スリープモードに移行します。

✔ 低電力モード、スリープモードの設定について詳しくは、本機管理者にご確認ください。

➔ **パワーセーブ**を押すと、スリープモードに移行します。復帰する場合は、再度**パワーセーブ**を押します。

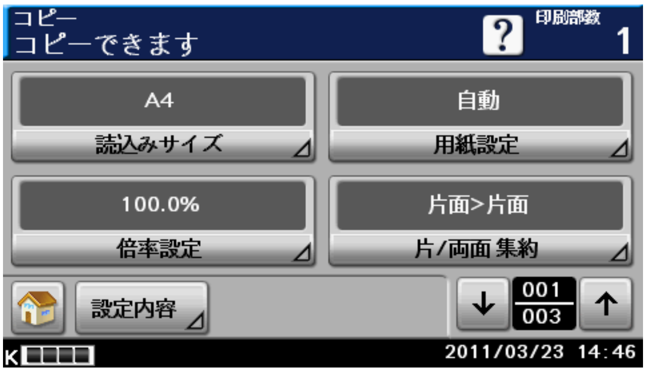
操作パネルの他のキー、または**タッチパネル**を押してもスリープモードから復帰します。

4.2 コピー、フォルダ、E-mail、ファクスについて

本機にはコピー、フォルダ、E-mail、ファクスの機能（モード）があり、目的の操作に合わせ選択します。
選択した機能キーが緑色に点灯します。

コピー

→ コピー機能に切換わります。
設定画面が表示されます。



フォルダ

→ ファイル送信機能に切換わります。
ファイル送信機能について詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。



E-mail

→ E-mail 送信機能に切換わります。
E-mail 送信機能について詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。



ファクス

➔ ファクス機能に切換わります。
ファクス機能について詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編]をごらんください。

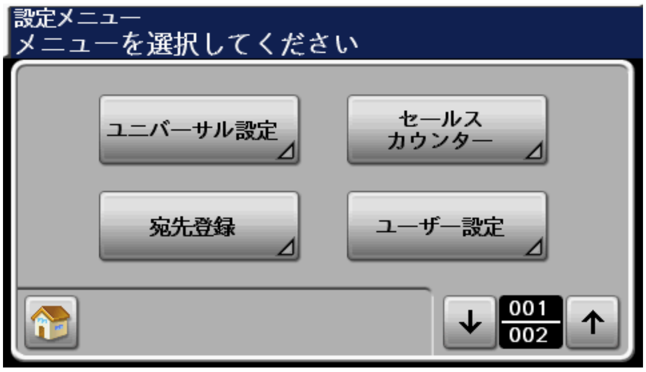


4.3 設定メニュー / カウンターについて

設定メニュー / カウンターを押すと、設定メニュー画面が表示されます。設定メニュー画面で本機を設定したり、本機の使用状況を確認したりすることができます。

➔ **設定メニュー / カウンター**を押します。

1/2 ページ



2/2 ページ



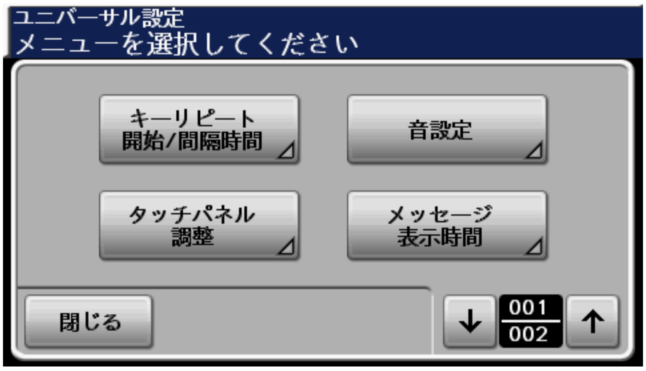
設定

［ユニバーサル設定］	本機の設定に関する項目が表示されます。詳しくは、4-9 ページをごらんください。
［セールスカウンター］	本機で操作された情報が項目別に表示されます。詳しくは、7-9 ページをごらんください。
［宛先登録］	本機で利用する宛先の登録や削除などに関する項目が表示されます。詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。
［ユーザー設定］	ユーザーが操作できる設定項目が表示されます。
［管理者設定］	本機の管理者のみが操作できる設定項目が表示されます。詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

ユニバーサル設定について

操作パネルに関する設定を変更する方法と、**タッチパネル**の調整について説明します。

1/2 ページ



2/2 ページ



設定

[キーリピート開始 / 間隔時間]	**タッチパネル**の数値設定のキーを長押しする場合、キーを押してから数値が変わり始めるまでの時間と、数値が変わる間隔を設定します。 ・ [開始までの時間]：キーの長押しにより、数値が変わり始めるまでの時間（単位：秒）を設定します。 ・ [間隔時間]：キーを押し続けている間に数値が変わる間隔（単位：秒）を設定します。
[音設定]	[一括設定] ・ [使用設定]：すべての音出力に対して、[する] または [しない] を選択できます。 ・ [音量（設定）]：[小] [中] [大] から選択します。 キー操作などに関連して音を鳴らす設定ができます。音設定には以下の設定があります。鳴らす場合は [する] を押し、音量を [小] [中] [大] から選択します。鳴らさない場合は [しない] を押します。 [操作確認音] ・ [入力確認音]：**操作パネル**のキーや**タッチパネル**のキーを押して入力を行ったとき ・ [入力無効音]：**操作パネル**のキーや**タッチパネル**のキーを押したが無効な入力だったとき ・ [基点音]：切換えがローテーションする選択項目で、初期値となる項目が選ばれたとき [正常終了音] ・ [操作終了音]：操作が正常に終了したとき ・ [通信終了音]：通信関連の操作が正常に終了したとき [準備完了音]：装置の準備が完了したとき [注意音] ・ [弱注意音（Level1）]：各消耗品および交換部品が交換時期に近づき、**タッチパネル**にメッセージが表示されたとき ・ [弱注意音（Level2）]：ユーザーが誤操作を行ったとき ・ [弱注意音（Level3）]：画面メッセージおよびマニュアルの参照等によりユーザーが対処可能なエラーが発生したとき ・ [強注意音]：ユーザーでは復帰不可能な、サービスエンジニア対応レベルのエラーが発生したとき

設定

[タッチパネル調整]	**タッチパネル**のキーを押しても正常に反応しないときは、**タッチパネル**のキー表示位置と実際のタッチセンサーの位置がずれている可能性があります。 **タッチパネル**の表示位置を調整します。 ・ タッチパネル調整画面で 4 つのチェックキー [+] をブザー音を確認しながら押します。正しく押されると、**スタート**のランプが青色に点灯します。**スタート**を押します。 ・ チェックキー [+] を押す順番は、任意でかまいません。 ・ 調整をやりなおすときは **C**（クリア）を押し、4 つのチェックキー [+] を押しなおしてください。 ・ **タッチパネル**の調整を中断する場合は、**ストップ**または**リセット**を押します。 ・ 調整できない場合は、サービス実施店にご連絡ください。
[メッセージ表示時間]	誤った操作を行ったときなどに表示される警告メッセージの表示時間を設定できます。
[LCD 輝度]	LCD 画面の輝度を調整します。

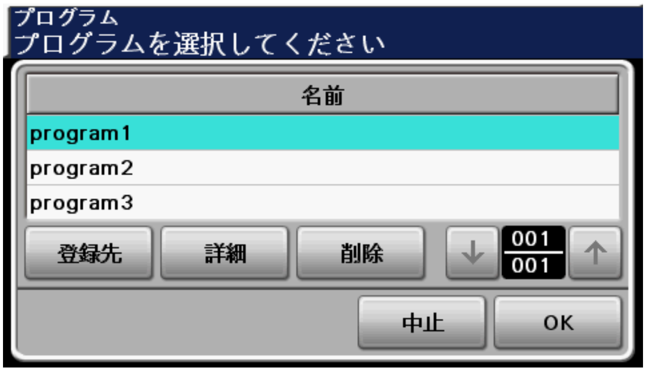
4.4　プログラムについて

よく使う各種コピーの設定条件の組合わせを、プログラムとして本機に登録し、簡単に呼出すことができます。最大 400 件（コピー / ファクス / スキャン）登録できます。

✔　コピープログラムは最大 15 件登録することができます。

✔　コピープログラムを登録する場合は、**プログラム**を押す前に登録したいコピー条件を設定してください。

➔　［コピー］または**コピー** ▸▸ **プログラム**を押します。



設定

［名前］	呼出したいコピー条件が登録されているキーを選択します。
［登録先］	・　登録したいコピー条件を設定後、[登録先] を押します。 ・　登録名を入力して［OK］を押します。
［詳細］	選択したキーに登録されているコピー条件を確認できます。
［削除］	選択したキーに登録されているコピー条件を削除できます。

4.5 ID について

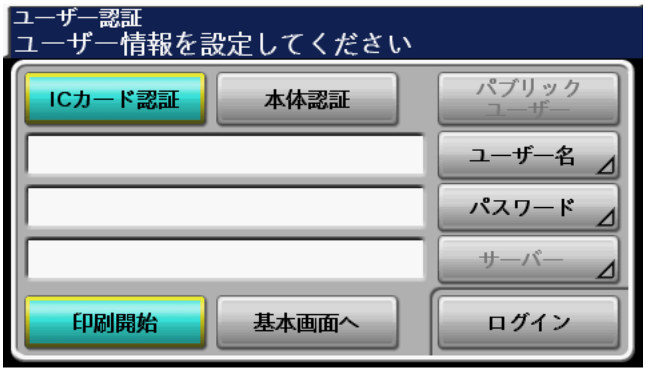
管理者によってユーザー認証 / 部門認証が設定されると、ユーザー登録 / 部門登録された特定のユーザーのみが本機を使用できます。

ユーザー / 部門ごとに本機の使用者を制限する（ユーザー認証 / 部門認証）

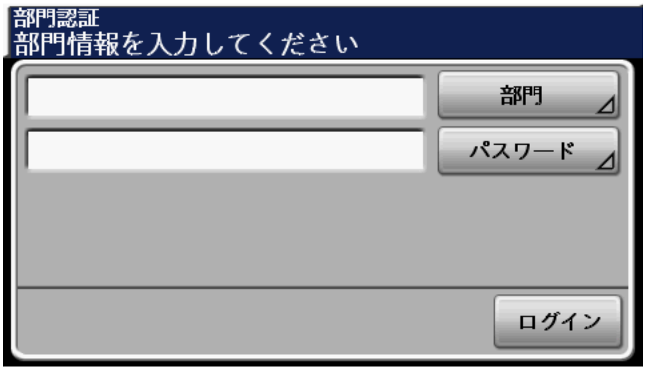
✔ ユーザー認証 / 部門認証を使用すると、ユーザーまたは部門に設定されたパスワードを入力したユーザーのみが、本機を使用できます。
✔ ユーザー / 部門ごとに印刷枚数などを管理することができます。
✔ ユーザー名、部門名、パスワード、サーバー名が不明な場合は、管理者に確認してください。
✔ ユーザー認証 / 部門認証の設定により、表示されるログイン画面は異なります。
✔ ユーザー認証は部門認証と併用できます。ユーザー認証 / 部門認証の設定を［連動しない］に設定している場合はユーザー認証を行ってから、部門認証の画面からログインします。
✔ 本体装置認証または外部サーバー認証を設定した場合は、ユーザーと部門を合わせて 1000 件まで登録できます。
✔ コピー終了後、ID を押してログアウトしてください。
✔ 認証装置で認証を行い、本機を使用することができます。
✔ PageScope Authentication Manager で認証を行っている場合、ログインについてはサーバーの管理者にご確認ください。
✔ ユーザー認証 / 部門認証の設定について詳しくは、本機管理者にご確認ください。

➔ ID を押します。

ユーザー認証の場合



部門認証の場合



設定

ユーザー認証	ユーザー認証を行い本機を使用します。	
	［IC カード認証］	本機管理者により IC カード機能が設定されていると、ユーザー名とユーザーパスワードを入力する認証のほかに、IC カードを使用した認証ができます。IC カードを使用した認証方法について詳しくは、9-2 ページをごらんください。
	［本体認証］	ユーザー名とユーザーパスワードを入力して認証する方式です。
	［パブリックユーザー］	［ユーザー名］、［パスワード］を知らないユーザーでも本機を使用できます。 本機管理者がパブリックユーザーを制限している場合、選択できません。 ［セキュリティ強化設定］が ON の場合、［パブリックユーザー］は選択できません。
	［ユーザー名］	ユーザー名を入力します。
	［パスワード］	パスワードを入力します。
	［サーバー］	［サーバー］を押すと登録されたサーバーが表示され、目的のサーバーを選択できます。
	［印刷開始］	認証＆プリント機能が設定されている場合に表示されます。 該当ユーザーの認証＆プリントファイルの印刷のみを行います。ホーム画面には移行しません。
	［基本画面へ］	認証＆プリント機能が設定されている場合に表示されます。 通常のログインのみとなり、認証＆プリントファイルは印刷されません。
	［ログイン］	ホーム画面が表示され、本機を使用することができます。
部門認証	部門認証を行い本機を使用します。	
	［部門］	部門名を入力します。
	［パスワード］	パスワードを入力します。
	［ログイン］	ホーム画面が表示され、本機を使用することができます。

4.6 割込み

他のジョブの進行を中断し、一時的に異なるコピー条件でコピーできます。急いでコピーをしたいときなどに便利です。

✔ 原稿読込み中は**割込み**を押すことができません。
✔ **割込み**を押すと、コピー条件は初期設定に戻ります。

1 原稿をセットします。

2 **割込み**を押します。

割込みのランプが緑色に点灯し、印刷中のジョブは中断されます。

3 コピー条件を設定します。

4 **スタート**を押します。

5 割込みジョブの印刷が終了したら、**割込み**を押します。

割込みのランプが消灯し、割込みコピー設定が解除されます。
割込みコピー前のコピー条件が復帰します。

5 コピー機能

5 コピー機能

操作パネルや**タッチパネル**のキーを押して、複数のコピー機能を設定することができます。

ここでは**タッチパネル**のキーを押して、設定できる機能について説明します。



項目（1/3 ページ）

[読込みサイズ]	原稿の読取りサイズを設定できます。	p. 5-3
[用紙設定]	コピーする用紙の種類、給紙トレイを設定できます。	p. 5-4
[倍率設定]	コピーする画像の倍率を設定できます。	p. 5-6
[片 / 両面 集約]	両面コピーやページ集約について設定できます。	p. 5-7

項目（2/3 ページ）

[濃度]	コピーをとるときの濃度を設定できます。	p. 5-9
[原稿画質]	原稿の種類によって、原稿画質を設定できます。	p. 5-10
[仕上り]	コピーの仕分け方法や仕上り状態を設定できます。	p. 5-11
[確認コピー]	大量のコピーを行うとき、先に 1 部のみ印刷して仕上りを確認できます。	p. 5-13

項目（3/3 ページ）

[連続読込み設定]	大量の原稿を数回に分けて読込むことができます。	p. 5-14
[ID コピー]	保険証や免許証、名刺など、カードサイズの原稿の表面と裏面を 1 枚の用紙にコピーできます。	p. 5-15
[とじしろ]	ファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつくってコピーできます。	p. 5-17
[画質調整]	原稿の画質や種類により、コピーの画質を設定して、コピーの品質を調整できます。	p. 5-18

その他

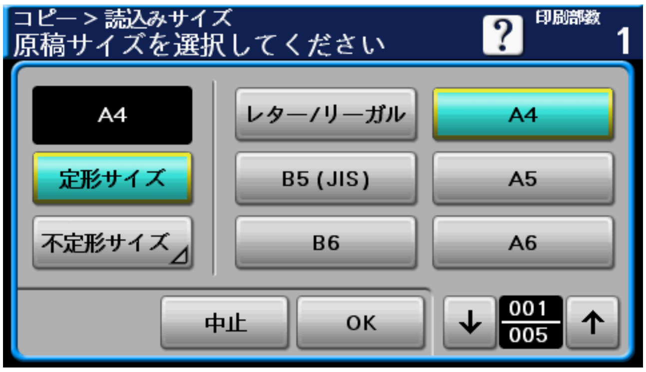
項目

[設定内容]	コピー設定の内容を確認します。	p. 5-19
[ジョブ]	ジョブの状況と履歴を表示します。	p. 5-20
[?]	コピー機能の説明や操作方法を画面上に表示して確認できます。	p. 3-7

5.1 ［読込みサイズ］

原稿のサイズを設定できます。

➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［読込みサイズ］を押します。



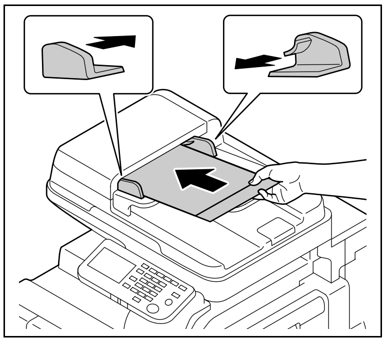
設定

［定形サイズ］	定形の原稿サイズを指定します。	
［不定形サイズ］	［不定形サイズ］を押すと、原稿サイズを指定する画面が表示されます。	
	［X］/［Y］	用紙の長さ［X］/ 幅［Y］を入力します。［+］、［-］または**テンキー**でサイズを指定します。

混載原稿をコピーする

サイズの異なる複数枚の原稿を一度に ADF にセットし読込むことができます。

✔ ADF からの読取りのみ対応します。原稿ガラスからの読取りには対応しません。
✔ レターサイズとリーガルサイズの同幅（8-1/2 インチ）原稿のみ対応します。



1 ADF の**ガイド板**を原稿サイズに合わせます。

2 原稿の表面を上にして、原稿を読込み順に ADF にセットします。

3 ［読込みサイズ］を押します。

4 ［レター / リーガル］を押します。

➔ ［レター / リーガル］を選択すると［倍率設定］は［等倍］に、［用紙設定］は［自動］に設定されます。

5 **スタート**を押します。

5.2 [用紙設定]

コピーする用紙の種類とサイズを選択したり、各給紙トレイにセットされている用紙サイズや用紙種類の設定を変更したりできます。

用紙サイズの選択には、原稿のサイズに合わせて自動で用紙を選択する方法と、手動で用紙を指定する方法があります。

✔ 自動倍率と自動用紙は同時に設定できません。

✔ 専用紙設定した給紙トレイは、自動用紙機能で選択されません。(ただし、片面専用用紙として設定された給紙トレイは、片面印刷の場合には、優先して選択されます。)特別な用紙を給紙トレイにセットした場合には必ず用紙種類を設定してください。専用紙について詳しくは、10-2 ページをごらんください。

➔ [コピー] または**コピー** ▸▸ [用紙設定] を押します。



設定

[自動]		原稿サイズに合わせて自動で用紙を選択することができます。	
1 ✋	手差しトレイ	手動で用紙を指定することができます。	
2～5	トレイ		
[選択トレイの設定変更]		選択した給紙トレイの用紙種類と用紙サイズを設定できます。	
		[用紙サイズ]	選択した給紙トレイの用紙サイズを設定できます。 [自動]: 用紙サイズを自動的に検出します。 [定形サイズ]([手差しトレイ] のみ): 指定した用紙サイズ専用の給紙トレイとして使用できます。 [不定形サイズ]([手差しトレイ] のみ): 用紙サイズを入力します。
		[用紙種類]	選択した給紙トレイの用紙種類を設定できます。

不定形サイズを設定する

➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［用紙設定］ ▸▸ ［手差しトレイ］ ▸▸ ［選択トレイの設定変更］ ▸▸ ［用紙サイズ］ ▸▸ ［不定形サイズ］を押します。



設定

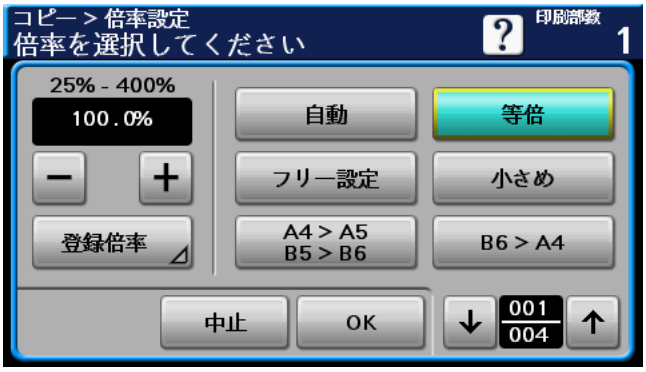
［X］ / ［Y］	用紙の長さ［X］/ 幅［Y］を入力します。[+]、[-] または**テンキー**でサイズを指定します。

5.3 ［倍率設定］

原稿の画像サイズを拡大、縮小できます。

✔ 自動倍率と自動用紙は同時に設定できません。

➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［倍率設定］を押します。



設定

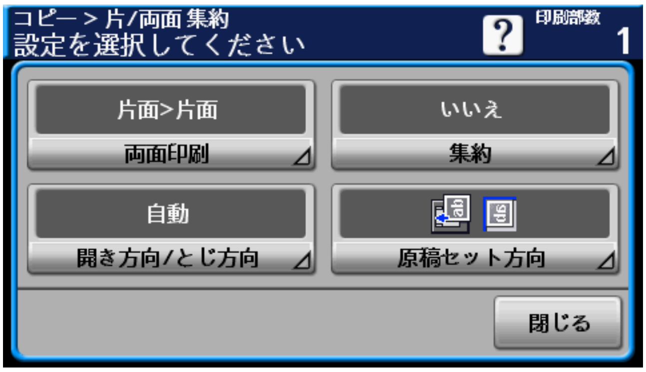
［-］/［+］	コピー倍率（25.0%～ 400.0%）を入力できます。 ADF を使用する場合は、25.0 ～ 200.0%の範囲で設定できます。
［登録倍率］	登録されているコピー倍率（25.0%～ 200.0%）を選択、変更できます。［小さめ］はコピー倍率を変更できます。
［自動］	原稿サイズと選択した用紙サイズに合わせて、自動的に最適なコピー倍率が選択されます。
［等倍］	原稿の画像を原寸（等倍）でコピーできます。
［フリー設定］	コピー倍率（25.0%～ 400.0%）を入力できます。
［小さめ］	原稿の画像を原稿サイズや指定した倍率より、わずかに縮小してコピーします。また、原稿の画像は欠損されることなく用紙の中央に配置されます。 原稿全体を用紙に収めてコピーしたい場合に選択します。

5.4　［片 / 両面 集約］

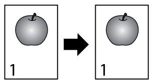
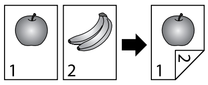
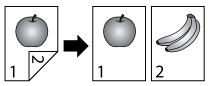
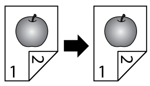
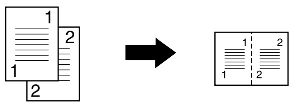
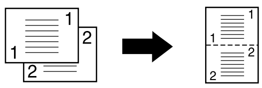
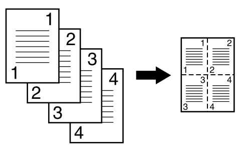
原稿の読込み面と用紙の印刷面をそれぞれ片面にするか両面にするかを設定できます。また、複数枚（2 枚、4 枚）の原稿画像を、1 枚の用紙に縮小してコピーできます。

［片 / 両面 集約］機能を使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。

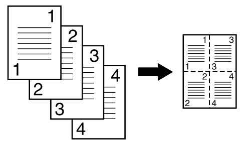
➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［片 / 両面 集約］を押します。



設定

［両面印刷］	片面コピーか両面コピーかを選択できます。	
	［片面＞片面］	
	［片面＞両面］	
	［両面＞片面］	
	［両面＞両面］	
［集約］	複数の原稿を 1 ページに集約してコピーします。	
	［いいえ］	ページ集約は行われません。
	［2 in 1］	2 枚の原稿画像を 1 枚の用紙にコピーできます。 原稿が縦向きの場合  原稿が横向きの場合 
	［4 in 1 横順］	4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に横順に並べてコピーできます。 ＜横順＞ 

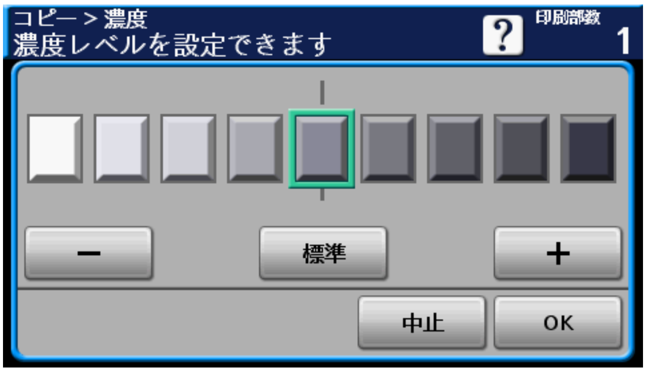
設定

[集約]	[4 in 1 縦順]	4 枚の原稿画像を 1 枚の用紙に縦順に並べてコピーできます。 ＜縦順＞ 
[開き方向 / とじ方向]	原稿およびコピーの開き方向を設定します。 [開き方向 / とじ方向] を設定しない場合、目的のコピーにならないことがあります。 [片面 > 片面] を選択した場合は [開き方向 / とじ方向] は設定できません。	
	[原稿とじしろ]	原稿のとじ方向を [左とじ]、[右とじ]、[上とじ]、[自動] から選択します。 原稿とじ方向で [自動] を設定した場合は、上側または左側にとじしろが設定されます。
	[コピー開き方向]	コピーのとじ方向を [左とじ]、[右とじ]、[上とじ]、[自動] から選択します。 コピー開き方向で [自動] を設定した場合は、上側または左側にとじしろ位置が設定されます。
[原稿セット方向]	ADF や**原稿ガラス**にセットした原稿のセット方向を設定します。 [原稿セット方向] を設定しない場合、目的のコピーにならないことがあります。	

5.5 ［濃度］

コピーをとるときの濃度を設定できます。

➔ ［コピー］またはコピー ▸▸ ［濃度］を押します。



設定

［-］/［+］	濃度は 9 段階から設定します。
［標準］	コピー濃度を標準値にします。

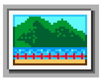
5.6 ［原稿画質］

原稿の状態に合わせて機能を選択し、よりよいコピーの画質に調整します。

➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［原稿画質］を押します。



設定

［文字］	文字だけの原稿を読込む場合に選択します。
［文字 / 写真］	文字と写真が混ざった原稿を読込む場合に選択します。文字の色や濃淡を自動的に認識して適切に処理します。
［写真］	写真だけの原稿を読込む場合に選択します。

5.7 ［仕上り］

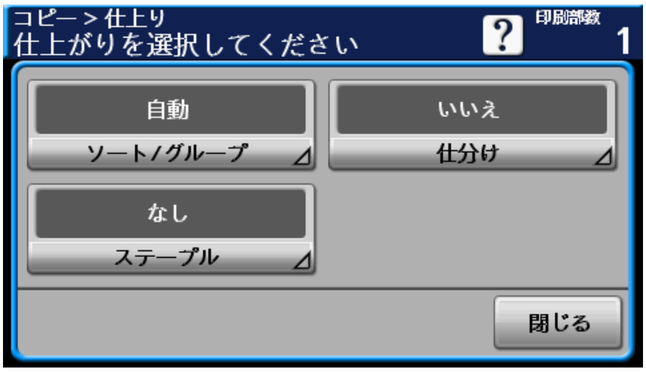
コピーを排紙トレイに排紙するときの仕分け方法や仕上りの状態を設定できます。

✔ ステープル機能はオプションの**フィニッシャー FS-529** を装着した場合に使用できる機能です。

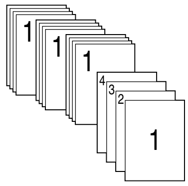
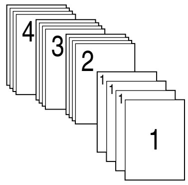
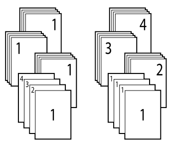
✔ ［ステープル］と［仕分け］は組合わせて使用できません。

✔ ［レター / リーガル］（混載原稿）、［グループ］、［ステープル］は、設定する順番によって優先および解除される設定が異なります。

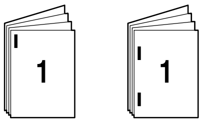
➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［仕上り］を押します。



設定

［ソート / グループ］	コピーの仕上りを設定します。	
	［ソート］	複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、部数ごとに複数枚コピーできます。 
	［グループ］	複数枚の原稿を複数部コピーする場合に、ページごとに複数枚コピーできます。 
	［自動］	原稿の枚数やコピー部数によって自動的に［ソート］か［グループ］かを判別します。
［仕分け］ ［はい］/［いいえ］	複数枚の原稿を複数部数コピーする場合に、コピーのまとまりを区別できるように排紙するかどうか選択します。コピーの完了した用紙をシフトして（ずらして）排紙します。**フィニッシャー FS-529** 装着時のみ設定できます。 	

設定

<table>
<tr><td rowspan="7">［ステープル］</td><td colspan="4">コピーした用紙のコーナーまたは 2 点をステープルでとじて排紙できます。
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［コーナー］</td><td rowspan="2">［位置指定］</td><td colspan="2">ステープル位置を［左上］、［右上］、［自動］から選択します。</td></tr>
<tr><td>［原稿セット方向］</td><td>ADF や原稿ガラスにセットした原稿のセット方向を設定します。
［原稿セット方向］を設定しない場合、目的のコピーにならないことがあります。</td></tr>
<tr><td rowspan="2">［2 点］</td><td rowspan="2">［位置指定］</td><td colspan="2">ステープル位置を［上］、［左］、［右］、［自動］から選択します。</td></tr>
<tr><td>［原稿セット方向］</td><td>ADF や原稿ガラスにセットした原稿のセット方向を設定します。
［原稿セット方向］を設定しない場合、目的のコピーにならないことがあります。</td></tr>
<tr><td>［なし］</td><td colspan="3">ステープルしません。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自動を選択すると、セットした原稿の方向から用紙へのステープル位置を自動的に判断します。
・　原稿の長辺が 297 mm 以下の場合、用紙の長辺にステープル位置を設定します。
・　原稿の長辺が 297 mm を超える場合、用紙の短辺にステープル位置を設定します。
・　ステープル位置は上側または左側に設定されます。
・　原稿の天部（上側）が左側になるようにします。</td></tr>
</table>

5.8　[確認コピー]

大量のコピーを行うとき、先に 1 部のみ印刷して仕上りを確認できます。印刷の失敗を未然に防ぐことができます。

1 原稿をセットします。

2 [コピー] または**コピー**を押します。

3 目的のコピー条件を設定します。

4 [確認コピー] を押します。

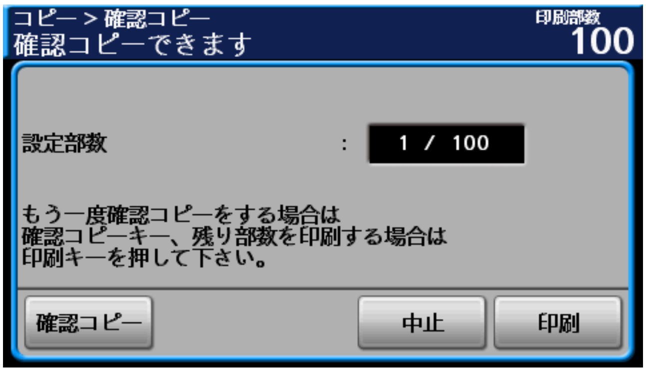
5 [する] を押します。

6 [OK] を押します。

7 **スタート**を押します。

1 部印刷されます。

8 コピー結果を確認します。



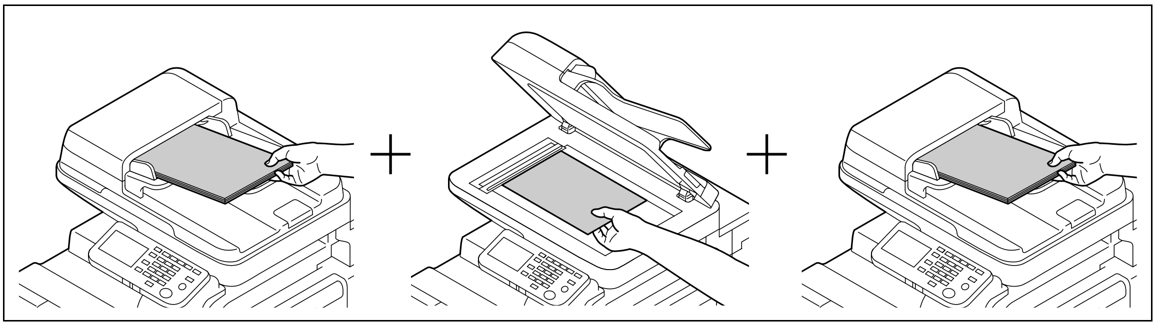
➔ コピーを確認して問題なければ、手順 9 へ進みます。
➔ テンキーで部数を変更できます。
➔ さらに確認したいときは、[確認コピー] を押して 1 部のみ出力できます。
➔ 中止したい場合は [中止] を押します。やり直す場合は、手順 2 から操作してください。

9 [印刷] を押します。

残りの部数がジョブとして登録されます。

5.9 ［連続読込み設定］

原稿の枚数が多く ADF の積載量を超える場合などに、原稿を数回に分けて読込ませ、ひとつのコピージョブとして扱うことができます。また原稿の読込みを ADF と原稿ガラスに切換えながらコピーすることもできます。



✔ ADF に最大枚数を超える原稿をセットしないでください。原稿づまりや原稿破損、故障の原因となります。

✔ ソートや両面コピー、集約コピーなどを**原稿ガラス**を使用してコピーする場合、連続読込みを設定しないで複数枚の原稿を読込むことができます。

1 原稿をセットします。

2 ［コピー］または**コピー**を押します。

3 コピー条件とコピー部数を設定します。

4 ［連続読込み設定］を押します。

5 ［する］を押します。

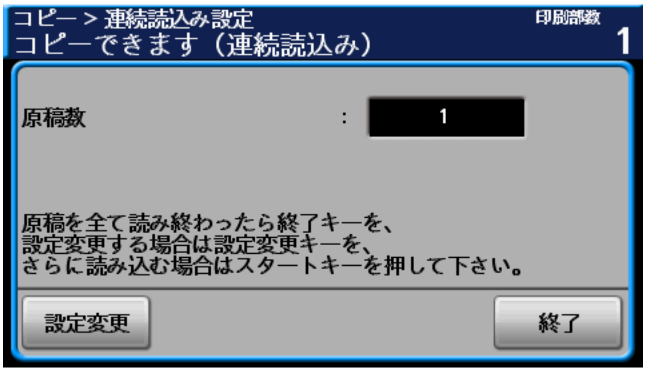
6 ［OK］を押します。

7 **スタート**を押します。

原稿が読込まれます。

8 次の原稿をセットし、**スタート**を押します。

➔ 読込み設定を変更する場合は、［設定変更］を押します。



9 全ての原稿が読込まれるまで、手順 8 の操作を続けます。

10 全ての原稿を読込んだあと、［終了］を押します。

参照

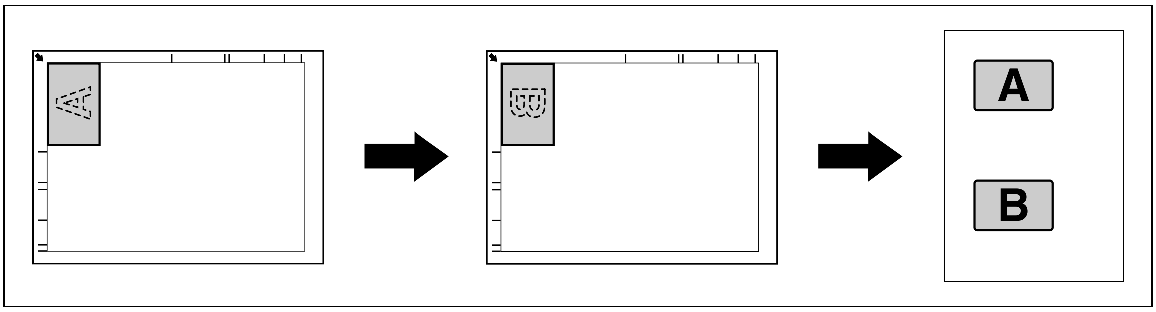
連続読込み方法を設定するには：

設定メニュー / カウンター ▸▸ ［ユーザー設定］▸▸ ［コピー設定］▸▸ ［連続読込み方法］を押します。

5.10 [ID コピー]

保険証や免許証、名刺など各種カードの表裏を別々に読込み、1 枚の用紙に並べてコピーできます。

ID コピーを使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。



✔ ID コピーのときは、倍率設定を 100% にしてください。
✔ 利用可能な用紙サイズは、A4、レター、リーガルです。
✔ ID コピーは原稿ガラスで行います。カードを原稿ガラスの左奥に合わせてセットしてください。印刷される状態は用紙の上および左から 20mm の位置に配置されますので、必要に応じてカードの位置を変えてください。
✔ 原稿セット時の左側および奥側（カードの上端および左端）のそれぞれ 2mm は、影消し処理を行うため印刷されません。
✔ ID コピーと自動用紙は同時に設定できません。

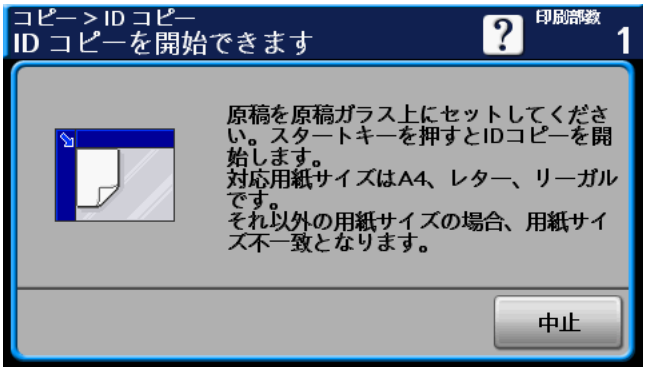
1 原稿ガラスにカードをセットします。

2 [コピー] または**コピー**を押します。

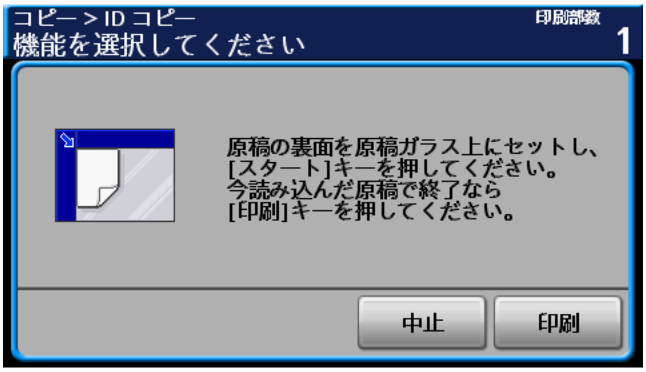
3 コピー条件とコピー部数を設定します。

4 [ID コピー] を押します。

5 **スタート**を押します。原稿の読込みが開始されます。



6 原稿ガラスにカードの裏側または別のカードを 1 回目と同じ位置にセットします。



➔ 1 回の読込みのみで印刷する場合は、ここで［印刷］を押すと出力できます。

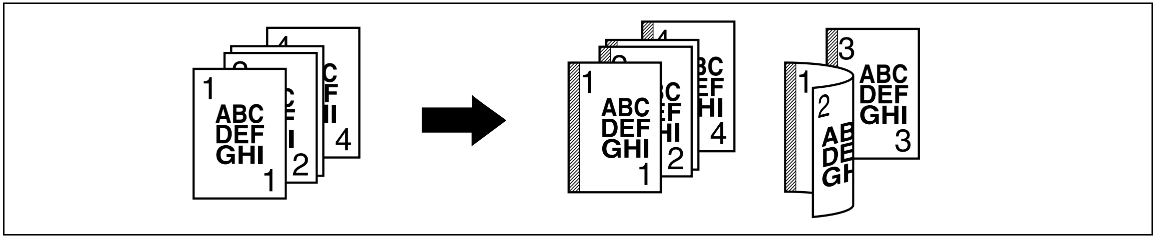
7 スタートを押します。

原稿の読込みが開始され、合成されたコピーが出力されます。

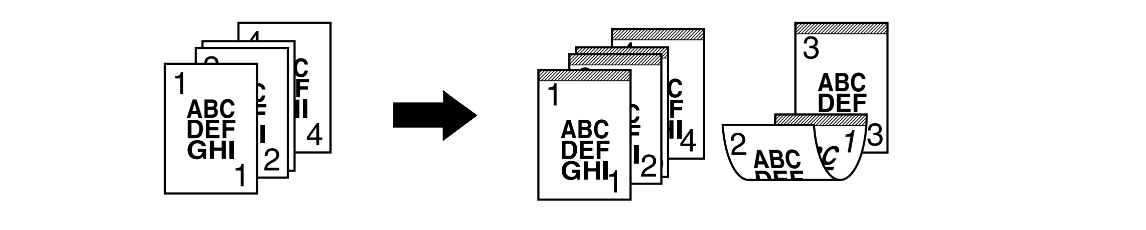
5.11 ［とじしろ］

ファイリングしやすいように、用紙にとじしろ（余白）をつくってコピーします。

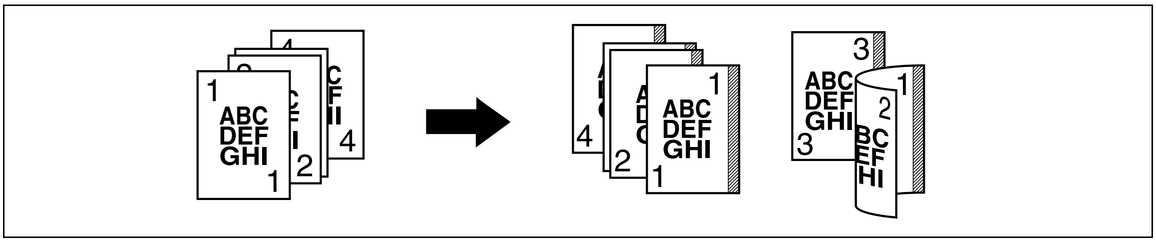
［左とじ］



［上とじ］



［右とじ］



✔ 両面コピーする場合、開き方向 / とじ方向と原稿セット方向を設定しておかないと、原稿画像の上下が正しくコピーされないことがあります。

✔ ステープルの位置指定ととじしろの位置が異なる場合、ステープル位置の設定が優先されます。

✔ とじしろの設定により画像が欠けてしまう場合は、倍率を縮小してコピーしてください。

➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［とじしろ］を押します。



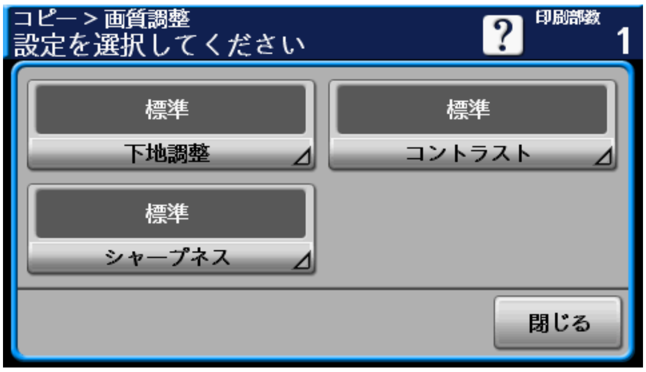
設定

［-］ / ［+］	とじしろ幅（0.1 mm ～ 20.0 mm）を設定します。
［なし］	とじしろを設定しません。

5.12 ［画質調整］

画質調整では、コピーの原稿を元にイメージに合った画質に調整できます。

➔ ［コピー］または**コピー** ▸▸ ［画質調整］を押します。



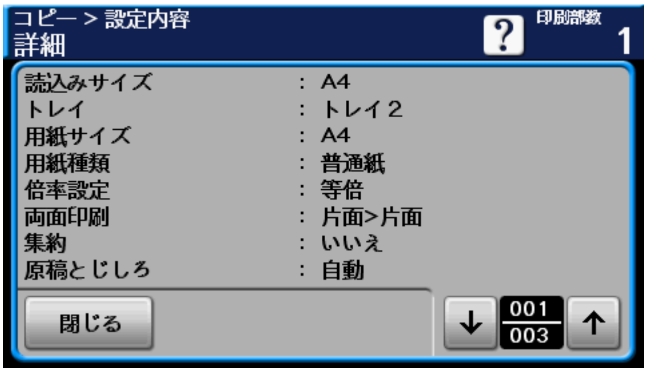
設定

［下地調整］	下地色の付いた原稿（新聞紙や再生紙など）や裏面が透ける薄い原稿を読込むときの下地色の読込み濃度を設定します。濃度は 9 段階から設定します。下地色の濃さに応じて設定してください。
［コントラスト］	原稿を読込むときの濃淡の差を設定します。コントラストは 9 段階から設定します。
［シャープネス］	原稿を読込むときの文字や線などの境界部分の強さを設定します。文字や線などを鮮明に読込む場合は、［+］側に設定します。シャープネスは 7 段階から設定します。

5.13　［設定内容］

設定内容画面で、現在設定されているコピー条件の確認、変更ができます。

1　［設定内容］を押します。



2　コピー条件を確認します。

3　設定内容の確認が終了したら、［閉じる］を押します。

5.14 ［ジョブ］

ジョブ画面では、本機の実行中ジョブおよび実行済みジョブを一覧表示し、内容の確認を行うことができます。

✔ 1 つのジョブの印刷中でも、別のジョブを登録できます。コピージョブは最大 30 件まで登録できます。

➔ ホーム画面で［ジョブ］を押します。



設定

［実行中］	登録済みジョブ、現在実行中ジョブのリストです。現在の状況を確認できます。	
	［印刷］	登録済み、現在実行中の印刷ジョブ一覧を表示します。
	［送信］	登録済み、現在実行中の送信ジョブ一覧を表示します。詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。
	［受信］	登録済み、現在実行中の受信ジョブ一覧を表示します。詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。
	［保存］	登録済み、現在実行中の保存ジョブ一覧を表示します。詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。
	［削除］	ジョブを削除できます。
［履歴］	動作終了のジョブリストです。 ・ エラーなどで終了できなかったジョブも含みます。 ・ ジョブ履歴、実行結果を確認できます。	
	［印刷］	動作終了の印刷ジョブ一覧を表示します。
	［送信］	動作終了の送信ジョブ一覧を表示します。詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。
	［受信］	動作終了の受信ジョブ一覧を表示します。詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。
	［保存］	動作終了の保存ジョブ一覧を表示します。詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。
	［詳細］	動作終了ジョブの実行結果、ユーザー名、登録時間、完了時間、原稿枚数、印刷部数などを確認できます。

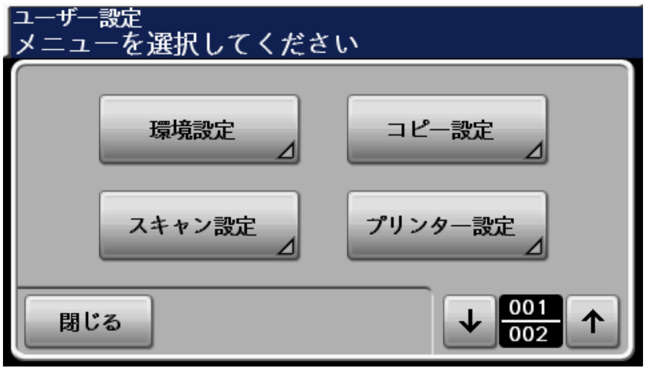
6 [ユーザー設定]

6　[ユーザー設定]

[ユーザー設定] はユーザーが調整できる設定項目です。

[ユーザー設定] は、一度にすべてを初期値に戻すことはできません。すべてを初期値に戻す場合は、それぞれの設定を手動で戻すか、または本機管理者にご相談ください。

1/2 ページ



2/2 ページ



設定項目

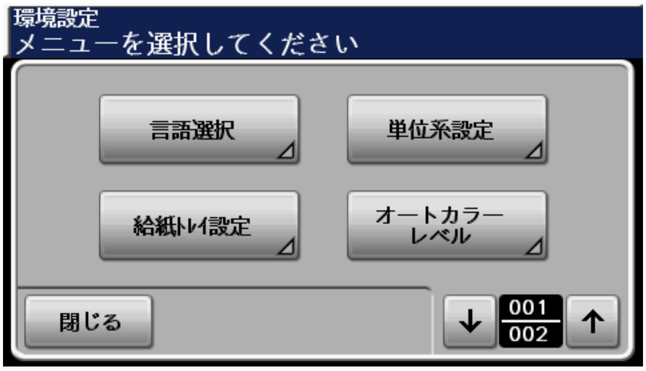
[環境設定]	本機の基本的な機能を設定できます。
[コピー設定]	コピー機能で使用される機能を設定できます。
[スキャン設定]	スキャンの操作に関する設定ができます。詳しくは、[ユーザーズガイド スキャン機能編] をごらんください。
[プリンター設定]	プリンターの操作に関する設定ができます。詳しくは、[ユーザーズガイド プリンター機能編] をごらんください。
[ファクス設定]	ファクスの操作に関する設定ができます。詳しくは、[ユーザーズガイド ファクス機能編] をごらんください。

6.1 ［環境設定］

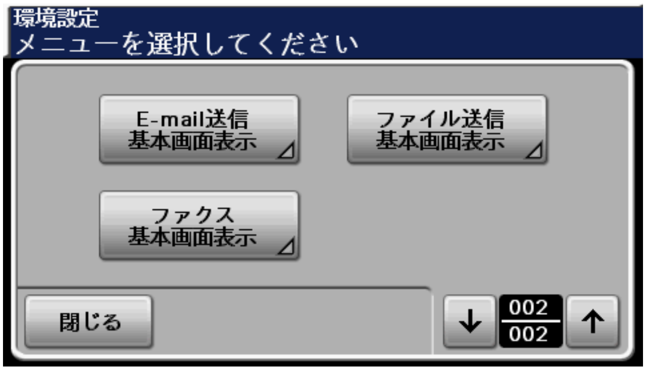
本機の基本的な機能を設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［環境設定］を押します。

1/2 ページ



2/2 ページ



設定項目

［言語選択］	タッチパネルに表示される言語を設定します。	
［単位系設定］	タッチパネルに表示される数値の単位を設定します。	
［給紙トレイ設定］	［給紙トレイ自動切換え］	給紙トレイを手動で選択し、コピー中にそのトレイの用紙がなくなった場合に、同じサイズの用紙がセットされている給紙トレイに自動的に切換えるかを設定できます。
	［給紙トレイ自動選択］	自動用紙機能がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。 また［給紙トレイ自動切換え］機能がはたらいたとき、自動選択の対象となるトレイを設定できます。
［オートカラーレベル］	スキャン時のカラー原稿と白黒原稿の判定基準レベルを調整できます。詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。	
［E-mail 送信基本画面表示］	E-mail 送信画面の初期表示を設定します。詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。	
［ファイル送信基本画面表示］	ファイル送信画面の初期表示を設定します。詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。	
［ファクス基本画面表示］	ファクス画面の初期表示を設定します。詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。	

出荷時設定

［言語選択］	［日本語］	
［単位系設定］	［mm］	
［給紙トレイ自動切換え］	［しない］	
［給紙トレイ自動選択］	［トレイ 1］	［する］
	［トレイ 2］	［する］
	［トレイ 3］	［する］
	［トレイ 4］	［する］
	［トレイ 5］	［する］
	オプションの給紙トレイを装着している場合に、［トレイ 4］や［トレイ 5］が表示されます。	
［オートカラーレベル］	2	

参照

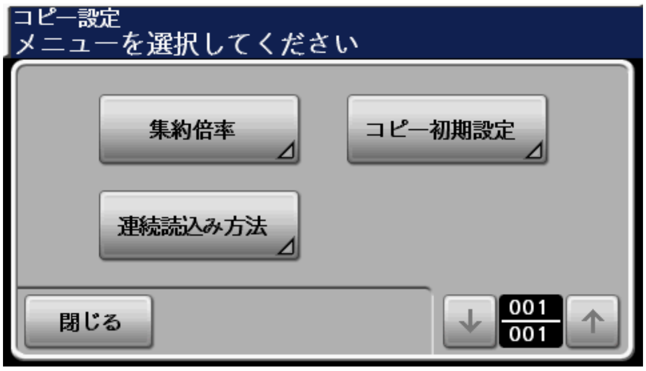
自動用紙を設定するには：

［コピー］または**コピー** ▸▸ ［用紙設定］▸▸［自動］を押します。

6.2 ［コピー設定］

コピー機能で使用される機能を設定します。

➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸［ユーザー設定］▸▸［コピー設定］を押します。



設定項目

［集約倍率］	自動用紙設定時に集約を選択した場合に、自動で適した倍率にするかしないかを設定できます。 ・ 集約倍率を設定すると、以下のように倍率が設定されます。 2in1：70.7% 4in1：50.0%	
［コピー初期設定］	電源を入れた場合や**リセット**を押した場合に表示される、コピー機能の初期値を設定します。	
	［工場時の出荷値］	出荷時の設定が、初期設定として使用されます。
	［現在の設定値］	現在設定されている値が、初期設定として使用されます。
［連続読込み方法］	ADF に原稿を分割してセットする場合や、**原稿ガラス**で複数枚の原稿が読込まれる場合の出力を設定します。	
	［一括出力］	全ての原稿読込み終了後に印刷が開始されます。
	［自動出力］	原稿読込み中でも出力可能な印刷が開始されます。

出荷時設定

［集約倍率］	［はい］
［コピー初期設定］	［工場時の出荷値］
［連続読込み方法］	［自動出力］

6.3 ［スキャン設定］

スキャンの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド スキャン機能編］をごらんください。

6.4 ［プリンター設定］

プリンターの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド プリンター機能編］をごらんください。

6.5 ［ファクス設定］

ファクスの操作に関する設定です。詳しくは、［ユーザーズガイド ファクス機能編］をごらんください。

7 メンテナンス

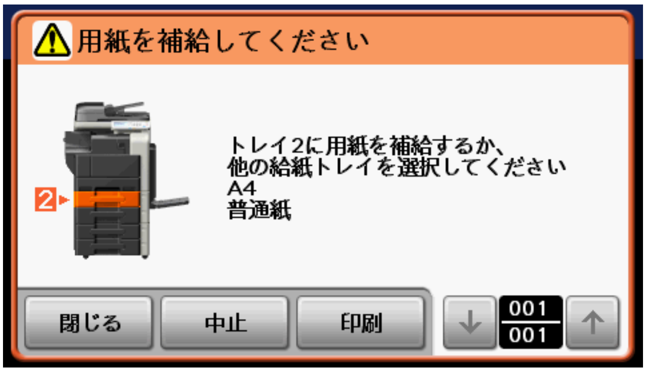
7 メンテナンス

7.1 用紙について

7.1.1 用紙を確認する

補給メッセージ

印刷中に用紙がなくなったときは、[トレイ○に用紙を補給するか、他の給紙トレイを選択してください]と表示されます。色付き表示されているトレイを確認して、用紙を補給してください。



用紙使用上の注意

以下の用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、故障の原因になります。

- 1度通紙したOHPフィルム（白紙状態で排紙されたOHPフィルムでも再使用できません。）
- 熱転写プリンターやインクジェットプリンターで印刷された用紙
- 折り目、反り、しわ、破れのある用紙
- 開封後長期間経過した用紙
- 吸湿した用紙、バインダー用の穴が開いている用紙、ミシン目のある用紙
- 表面が滑らかすぎる用紙、表面が粗すぎる用紙、表面が一様でない用紙
- カーボン紙、感熱紙、感圧紙、アイロンプリント紙のような表面が加工された用紙
- 箔押し、エンボスなどの加工が施されている用紙
- 形が不規則な用紙（長方形でない用紙）
- のり、ステープル、クリップなどでとじられている用紙
- ラベルが貼られている用紙
- リボンやフック、ボタンなどの付いている用紙

用紙の保管

用紙は、湿気の少ない冷暗所に保存してください。用紙が湿気をおびると、紙づまりの原因になります。
また、用紙は立てて置かずに水平に保管してください。用紙にカールがついて、紙づまりの原因になります。

7.1.2 用紙をセットする

各トレイの用紙のセット方法について説明します。

用紙がなくなり印刷が中断した場合は、トレイに用紙をセットしてください。中断されていた印刷が自動的に再開されます。

セットできる用紙については、10-2 ページをごらんください。

トレイ 2/ トレイ 3/ トレイ 4/ トレイ 5 へ用紙をセットする

トレイ 2/ トレイ 3/ トレイ 4/ トレイ 5 の用紙のセット方法は、同じ手順です。

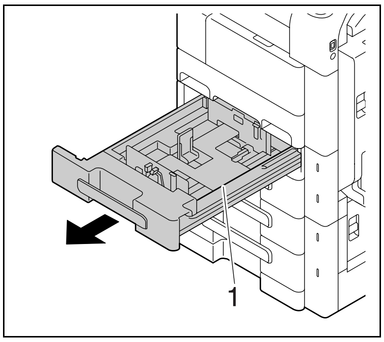
ここでは**トレイ 2** へ用紙をセットする場合の手順を説明します。

✔ **トレイ 4**、**トレイ 5** はオプションです。
✔ セットした用紙サイズは自動で検出されます。

1 **トレイ 2** を引出します。

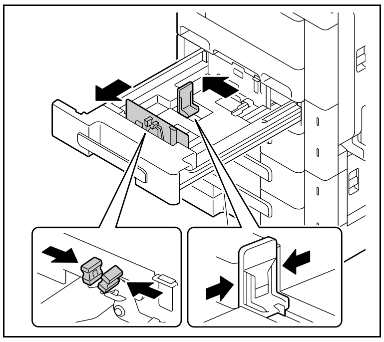
➔ 1. フィルム

重要
フィルムには手を触れないように注意してください。



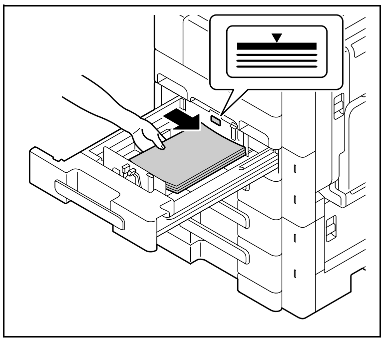
2 **ガイド板**をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。

➔ セットした用紙に対して、**ガイド板**の位置が合っていない場合、用紙サイズを正しく検出できません。



3 印刷したい面（用紙の開封した面）を上向きにして用紙をセットします。

➔ 用紙は ▼ マークを超えないようにセットしてください。
➔ 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
➔ 専用紙をセットした場合は、用紙種類の設定が必要です。
➔ レターヘッド紙は、印刷したい面を上向きにしてセットします。



4 **トレイ 2** を閉じます。

参照
用紙を設定するには：

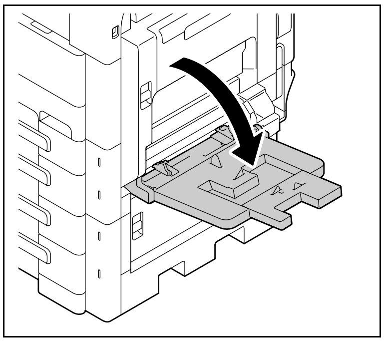
［コピー］または**コピー** ►► ［用紙設定］を押します。

トレイ 1（手差しトレイ）へ用紙をセットする

1 トレイ 1（手差しトレイ）を開きます。

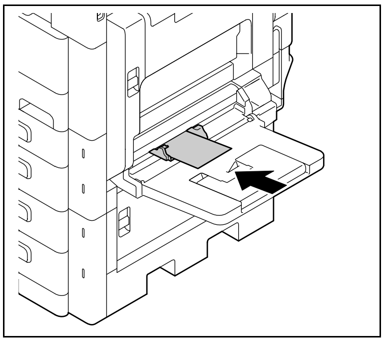
➔ 大きなサイズの用紙をセットする場合は、補助トレイを開きます。

重要
給紙ローラーの表面には手を触れないように注意してください。

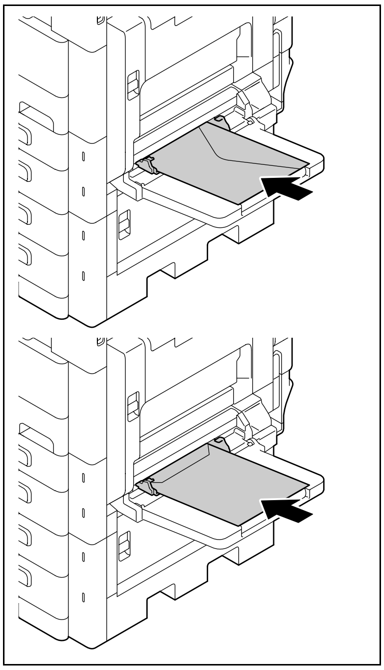


2 印刷したい面を下向きにし、用紙の先端を奥まで差込んでセットします。

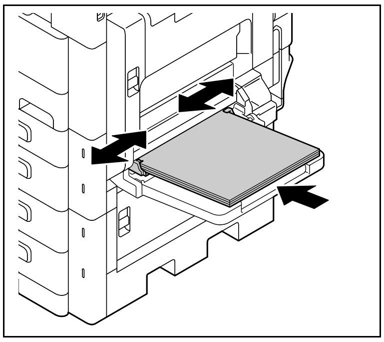
➔ セットする用紙の下面に画像が印刷されます。
➔ 用紙は ▲ マークを超えないようにセットしてください。
➔ 用紙がカールしている場合は、用紙のカールを伸ばしてからセットしてください。
➔ **ガイド板**を確実に用紙の端面に合わせてください。
➔ レターヘッド紙は、印刷したい面を下向きにしてセットします。
➔ はがきの場合：
図のように ◪ 方向にセットしてください。
100 mm × 148 mm 以外のはがきを使用する場合は、使用するはがきのサイズを確認したうえで、不定形サイズ画面にてサイズ設定したのちご使用ください。



➔ 封筒の場合：
封筒内部の空気を押出し、封筒の折り目をしっかり押さえてセットしてください。
図のように封印部を上側にしてセットしてください。封印部側に印刷はできません。



3 **ガイド板**をスライドさせ、用紙のサイズに合わせます。



4 用紙種類を選択します。

➔ はがきを使用する場合は、［ハガキ］に設定してください。

➔ 封筒を使用する場合は、［封筒］に設定してください。

参照

用紙を設定するには：

［コピー］または**コピー** ▸▸ ［用紙設定］を押します。

7.2 消耗品について

消耗品の確認

7.2.1 交換メッセージ

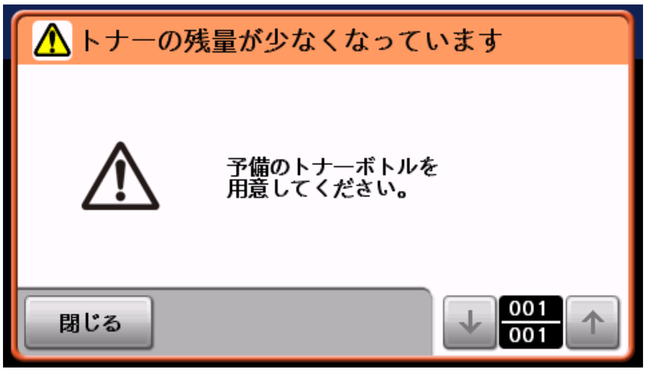
トナーボトルや**ドラムユニット**が交換時期になると、画面上部にメッセージが表示されます。
トナーボトルを交換する場合は、[すぐに使える操作ガイド] をごらんください。
ドラムユニットの交換については、サービス実施店にお問い合わせください。

メッセージが表示されたら、保守契約に従って、**トナーボトル**の交換準備、交換作業を行ってください。

トナーボトルの交換時期が近づくと、下図のような事前通知メッセージが表示されます。
メッセージが表示されたら、保守契約にしたがって**トナーボトル**の交換の準備を行ってください。



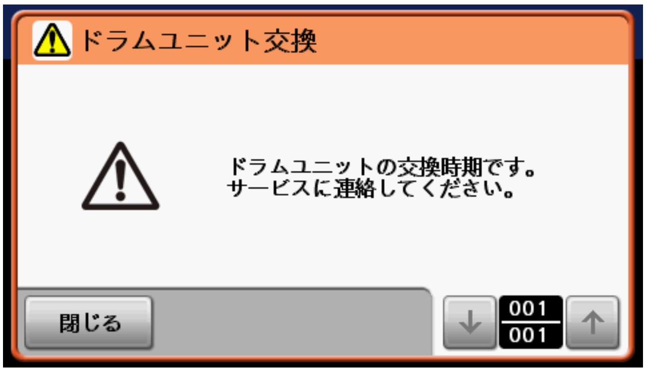
→ 警告アイコンを押すと、下図が表示されます。



ドラムユニットが交換時期に達すると、下図のような交換処理メッセージが表示されます。

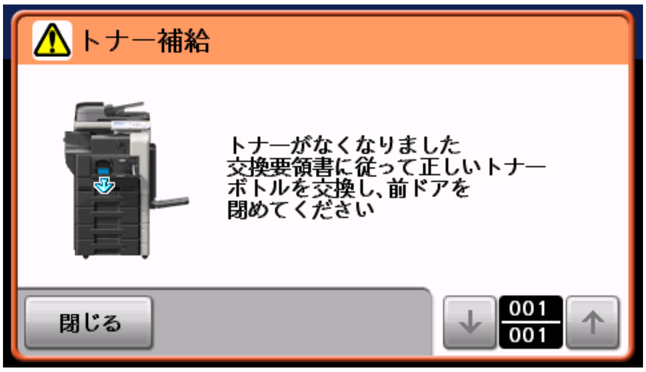


➔ 警告アイコンを押すと、下図が表示されます。

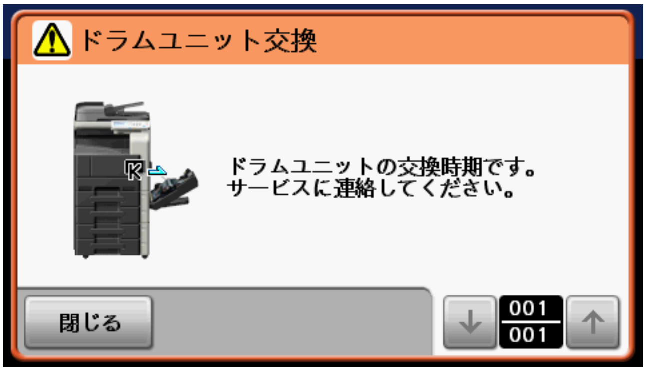


交換処理メッセージが表示された状態で使用し続けると、下図のような交換メッセージが表示されます。
トナーボトルは、保守契約にしたがって交換を行ってください。**ドラムユニット**は、サービス実施店にお問い合わせください。

トナーボトル



ドラムユニット

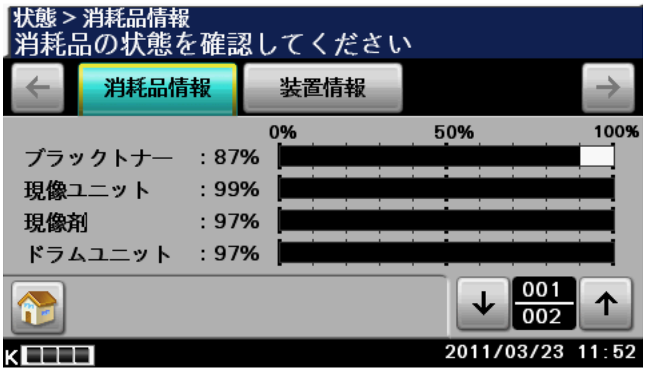


7.2.2 消耗品の状態を確認する

消耗品情報画面では消耗品の状態（消耗レベル）を確認できます。

1 ホーム画面で［状態］を押します。

2 ［消耗品情報］を押します。



7.3　印刷枚数について

セールスカウンターを確認する

セールスカウンターの画面では、カウント開始日からの印刷枚数などを確認できます。詳しくは、[すぐに使える操作ガイド] をごらんください。

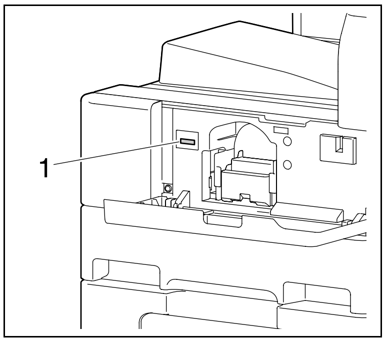
➔ **設定メニュー / カウンター** ▸▸ [セールスカウンター] を押します。



総印刷ページ数を確認する

トータルカウンターで、現在までの総印刷ページ数を確認できます。

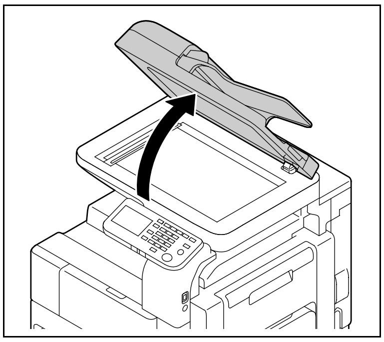
1. トータルカウンター



7.4 清掃のしかた

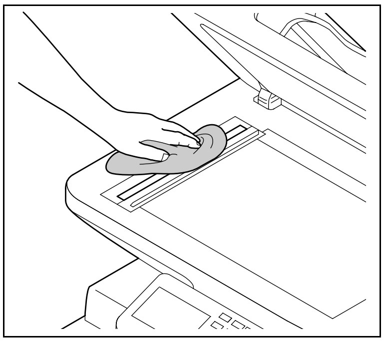
スリットガラス

1 ADF を開きます。



2 乾いた布で**スリットガラス**の汚れを拭取ります。

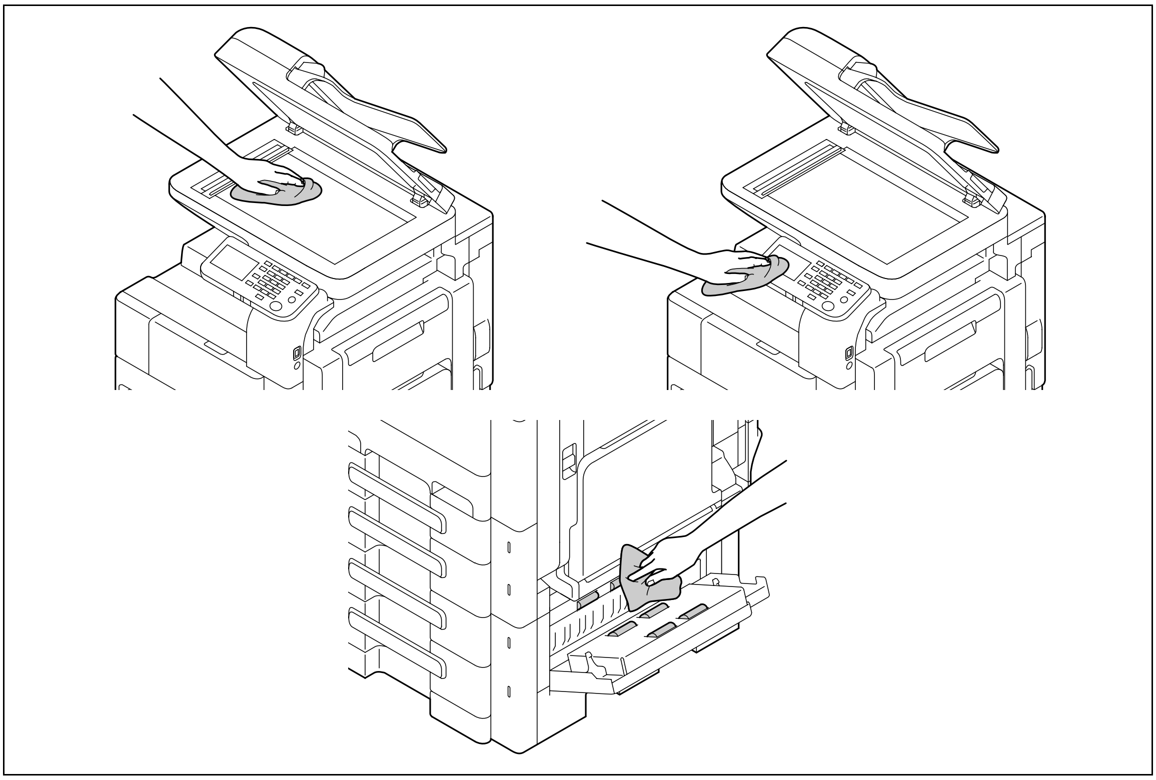
➔ ガイドに沿わせて奥から手前に向かって拭取ります。



原稿ガラス、操作パネル、給紙ローラー

重要
操作キー、**タッチパネル**を傷めるおそれがあるため、**操作パネル**を強く押さえないでください。

➔ 柔らかな布で表面を乾拭きし、汚れを拭取ります。

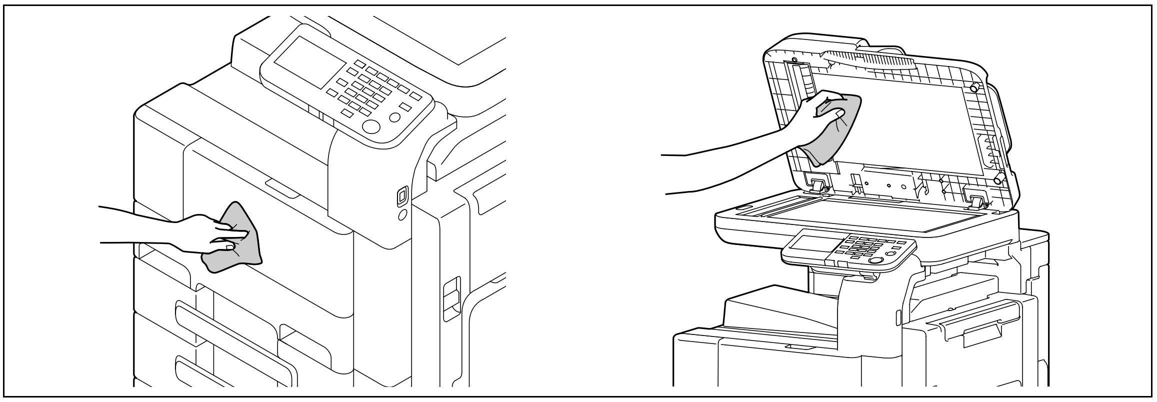


外装カバー、原稿押さえパッド

重要

原稿押さえパッドの清掃に、ベンジンやシンナーなどの溶剤は絶対に使用しないでください。

➔ 柔らかな布に家庭用中性洗剤をつけ、表面の汚れを拭取ります。



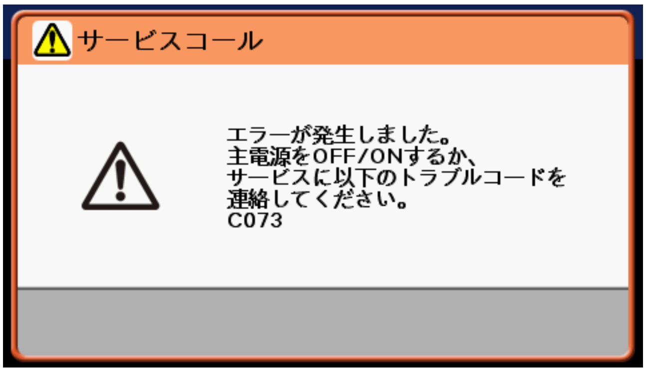
8 トラブル処理

8 トラブル処理

ここではトラブルの処理方法について説明します。

8.1 トラブルが検出されたら（サービスコール）

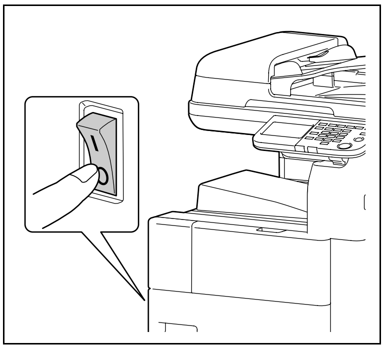
トラブルが検出された場合、メッセージにしたがいトラブルを処理してください。トラブルが処理できない場合は、以下の操作を行いサービス実施店にご連絡ください。



処理できないトラブルについて

1 サービスコール画面のトラブルコードを書留めます。

2 **電源スイッチ**を OFF にします。



3 本体の電源プラグをコンセントから抜きます。

4 サービス実施店に連絡し、書留めたトラブルコードをお知らせください。

8.2 トラブルリスト

簡単なトラブル処理

下記は簡単なトラブル処理について説明しています。処理を行ってもトラブルがなおらない場合は、サービス実施店にご連絡ください。

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
電源スイッチを入れても機械が始動しない	コンセントへの接続は確実ですか?	電源プラグを正しくコンセントに接続してください。
コピーがスタートしない	本体の**右上ドア**を確実に閉じていますか?	本体の**右上ドア**を確実に閉じてください。
	原稿に見合った適正な用紙が入っていますか?	適正なサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。
画像がうすい	濃度の設定が、[-] になっていませんか?	濃度画面で [+] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。(p. 5-9) それでも改善されない場合は、管理者設定の [メンテナンスメニュー] にて設定を行ってください。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。
	用紙が湿気をおびていませんか?	用紙を新しいものに交換してください。(p. 7-3)
画像がこい	濃度の設定が、[+] になっていませんか?	濃度画面で [-] を押して、お好みのコピー濃度でコピーしてください。(p. 5-9) それでも改善されない場合は、管理者設定の [メンテナンスメニュー] にて設定を行ってください。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編] をごらんください。
	原稿が**原稿ガラス**から浮上がっていませんか?	原稿が**原稿ガラス**に密着するようにセットしてください。(p. 3-4)
画像がにじむまたはぼける	用紙が湿気をおびていませんか?	用紙を新しいものに交換してください。(p. 7-3)
	原稿が**原稿ガラス**から浮上がっていませんか?	原稿が**原稿ガラス**に密着するようにセットしてください。(p. 3-4)
印刷の全体が汚れる 印刷にスジが表れる	**原稿ガラス**が汚れていませんか?	**原稿ガラス**を柔らかな布で乾拭きしてください。(p. 7-10)
	スリットガラスが汚れていませんか?	**スリットガラス**を乾いた布で清掃してください。(p. 7-10)
	原稿押えパッドが汚れていませんか?	柔らかな布に中性洗剤をつけ、**原稿押えパッド**を清掃してください。(p. 7-11)
	第 2 原図、OHP フィルムなどの透明度の高い原稿を使っていませんか?	原稿の上に白紙をのせてコピーしてください。(p. 3-4)
	両面原稿を使っていませんか?	うすい紙の両面原稿の場合、裏面の原稿内容が透けて、表面の原稿に写ってしまうことがあります。下地調整画面で下地レベルをうすくしてください。(p. 5-18)

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
印刷の画像が傾いている	原稿が正しくセットされていますか?	原稿を**原稿スケール**に合わせて、正しくセットしてください。(p. 3-4) 原稿を ADF にセットし、**ガイド板**を原稿サイズに正しく合わせてください。(p. 3-3)
	ADF に適した原稿がセットされていますか?	ADF に適していない原稿の場合は、**原稿ガラス**を使用してコピーしてください。(p. 3-4)
	スリットガラスに異物が付着していませんか?(ADF 使用時)	**スリットガラス**を乾いた布で清掃してください。(p. 7-10)
	給紙トレイの**ガイド板**がきちんと用紙に合わせてありますか?	用紙端面にきちんと**ガイド板**を合わせてください。
	カールの大きい用紙が給紙トレイにセットされていませんか?	用紙のカールを手でなおして給紙トレイにセットしなおしてください。
印刷された用紙が反っている	お使いになる用紙(再生紙など)によっては反りが発生する場合があります。	給紙トレイにセットされている用紙を裏返してセットしなおしてください。
		吸湿していない、新しい用紙に交換してください。(p. 7-3)
画像の周りが汚れる	**原稿押えパッド**が汚れていませんか?	柔らかな布に中性洗剤をつけ、**原稿押えパッド**を清掃してください。(p. 7-11)
	原稿サイズより大きな用紙を選択していませんか? (等倍 100.0% コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、拡大コピーをしてください。(p. 5-6)
	原稿サイズと用紙の向きが違っていませんか? (等倍 100.0% コピー時)	原稿と同じサイズの用紙を選択してください。または、原稿と同じ向きに用紙をセットしなおしてください。
	用紙サイズに合った縮小コピー倍率が選択されていますか? (縮小コピー倍率手動入力時)	用紙サイズにあった倍率を選択してください。 または、自動倍率を選択し、用紙に合わせた倍率で、縮小コピーをしてください。(p. 5-6)
紙づまり処理してもコピーできない	他にも紙づまりはありませんか?	他の場所につまっている用紙を取除いてください。
両面>片面、両面>両面機能にならない	組合わせできない設定を選んでいませんか?	選んでいる設定の組合わせをご確認ください。
ユーザー認証設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	[ユーザー別カウンターが上限値です]が表示されていませんか?	管理責任者にご確認ください。
部門認証設定をしている機械でパスワードを入力してもコピーできない	[部門別カウンターが上限値です]が表示されていませんか?	
原稿が送られない	ADF が浮いていませんか?	ADF を確実に閉じてください。
	仕様以外の原稿を使用していませんか?	ADF にセットできる原稿の仕様を確認してください。 (p. 10-4)
	正しく原稿をセットしていますか?	原稿を正しくセットしてください。(p. 3-3)
フィニッシャー FS-529 が作動しない	コネクターへの接続は確実ですか?	コードをコネクターへ確実に接続してください。

トラブルの内容	チェックポイント	処理のしかた
ステープルの位置が 90°ずれる	ステープルの位置指定は合っていますか?	ステープルの位置を目的の位置に指定してください。(p. 5-11)
排紙される用紙が均一に積載されず、ステープルの位置がずれる	用紙が大きくカールしていませんか?	給紙トレイ内にセットされている用紙を、裏表逆にセットしてください。
	用紙をセットしている給紙トレイの**ガイド板**と用紙の間に隙間がありませんか?	給紙トレイの**ガイド板**を用紙に突き当て、隙間ができないようにしてください。
	用紙の種類が正しく設定されていますか?	選択トレイの用紙種類を正しく設定してください。
認証装置と本機を USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	本機の USB ポートの誤作動が考えられます。	本機の**電源スイッチ**を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の**電源スイッチ**を ON にしてください。
認証装置とコンピューターを USB ケーブルでつないだが、状態表示 LED が緑点灯しない	コンピューターの USB ポートの誤作動が考えられます。	お使いのコンピューターを再起動してください。
	認証装置のドライバーは正しく組込まれていますか?	お使いのコンピューターに正しくドライバーが組込まれているかを確認してください。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。
ログインに失敗する本機に[認証に失敗しました]のメッセージが表示される場合	[カード認証 + パスワード]が設定されている場合 正しいパスワードを入力しましたか?	パスワードを確認し、正しいパスワードを入力してください。
読取りが開始されない	認証装置を本機に接続後、本機を再起動しましたか?	本機の**電源スイッチ**を OFF にし、本機または認証装置の USB ケーブルを一旦抜き、再度接続し、10 秒以上経過してから本機の**電源スイッチ**を ON にしてください。
認証装置をコンピューターに接続するとハードウェアインストールウィザードが起動する	認証装置を接続した USB ポートは、ドライバーインストール時と同じものですか?	ドライバーをインストールしたときと異なる USB ポートに認証装置を接続した場合は、ハードウェアインストールウィザードが起動することがあります。ドライバーをインストールしたときと同じ USB ポートを使用してください。詳しくは、[ユーザーズガイド 管理者機能編]をごらんください。

おもなメッセージと処理のしかた

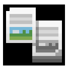
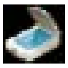
下記以外のメッセージが表示された場合は、メッセージにしたがい処理を行ってください。

メッセージ	原因	処理のしかた
[用紙を補給してください] [トレイ○に用紙を補給するか、他の給紙トレイを選択してください xxx]	適合するサイズの用紙が給紙トレイにセットされていません。	適合するサイズの用紙をセットするか、他の給紙トレイを選択してください。
[用紙サイズ / 種類不一致] [以下の用紙をトレイ○に セットしてください xxx]	指定されたトレイに指定されたサイズ、種類の用紙がありません。	正しいサイズ、種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。
[用紙サイズ不一致] [以下の用紙をセットするか、ジョブを中止してください xxx]	指定した用紙サイズの用紙がトレイ○にセットされていません。	表示された給紙トレイに正しい用紙をセットしてください。
[最適用紙がありません] [最適用紙がありません xxx]	印刷対象に対して適切な用紙がトレイにセットされていません。	適切な用紙をトレイにセットし、**操作パネル**でセットした用紙サイズを再設定してください。
[用紙を補給してください] [用紙を補給してください xxx]	表示されているトレイに用紙がありません。	用紙を補給してください。 (p. 7-3)
[スキャナーロックレバー確認] [スキャナーのロックレバーを解除してください]	スキャナーロックレバーがロックされています。	ジョブをキャンセルし、スキャナーのロックレバーを解除してください。
[原稿を原稿ガラス上にセットしてください] [ADF から読込みできない原稿サイズです]	スキャンしようとした原稿が ADF から読込みできない原稿サイズです。	原稿ガラスでスキャンしてください。
[原稿を原稿ガラス上にセットしてください] [ADF から読込みできない倍率です]	スキャンしようとした倍率が ADF から読込みできない倍率(200% 以上)です。	原稿ガラスでスキャンしてください。
[ADF に原稿をセットしてください] [原稿を原稿トレイにセットしてください]	ADF に原稿がセットされていません。ADF に原稿をセットしてください。	サイズ混載原稿は ADF からスキャンします。
[自動倍率の範囲外です] [用紙に適した倍率は範囲外です 倍率または用紙を選択してください]	自動倍率の設定が可能な範囲をこえています。	倍率を 25 ～ 400%で指定してください。
[両面コピーできません] [両面コピーは使用できません。中止するか、以下の用紙を選択してください。 xxx]	両面コピーできない用紙サイズです。	両面コピーをキャンセルするか、用紙サイズを変更してください。
[排紙トレイフル] [排紙トレイの容量オーバーです。 トレイの用紙を取り除いてください。]	表示されている**フィニッシャー FS-529** の排紙トレイの容量が最大積載量に達したため、コピーができません。	表示されているトレイ上の用紙を全て取除いてください。
[処理トレイ用紙取り忘れ] [処理トレイの用紙を取り除いてください]	**フィニッシャー FS-529** の処理トレイに用紙がある状態で**電源スイッチ**を ON にしています。	フィニッシャーの処理トレイから用紙を取り除いてください。
[ユーザー認証 ユーザー情報を設定してください]	ユーザー認証されています。 ユーザー名と正しいパスワードを入力しないかぎりコピーはできません。	ユーザー名と正しいパスワードを入力してください。 (p. 4-12)

メッセージ	原因	処理のしかた
［部門認証 部門情報を入力してください］	部門認証されています。部門名と正しいパスワードを入力しないかぎりコピーはできません。	部門名と正しいパスワードを入力してください。（p. 4-12）
［ユーザー別カウンターが上限値です］	印刷できる枚数が制限されており、その上限に達しました。	本機の管理者に連絡してください。
［部門別カウンターが上限値です］		
［カバーが開いています］ ［カバーが開いています 確実に閉めてください］	本体のドアやカバーが開いているかオプションが確実にセットされていないため、コピーができません。	本体のドアやカバー、オプションのドアやカバーを確実にセットしてください。
［ADF 初期化エラー］ ［ADF カバーを開閉してください］	ADF カバーが確実にセットされていません。	ADF カバーをいったん開き、再度閉じてください。
［トナーの残量が少なくなっています］ ［予備のトナーボトルを用意してください。］	トナーが残り少なくなったときに表示されます。	保守契約にしたがって予備の**トナーボトル**交換を用意してください。
［トナー補給］ ［トナーがなくなりました 交換要領書に従って正しいトナーボトルを交換し、前ドアを閉めてください］	トナーがなくなりました。	保守契約にしたがって**トナーボトル**を交換してください。
［イメージングユニットセット不良］ ［ドラムユニット､現像ユニットがセットされていません］	イメージングユニットが正しくセットされていません。	サービス実施店にご連絡ください。
［ステープル針交換］ ［ステープルカートリッジを交換してください］	ステープル針がなくなりました。	**ステープルカートリッジ**を交換してください。
［ステープル可能枚数オーバーです］ ［ステープル可能枚数オーバーです ステープルを解除してください］	ステープルの最大とじ枚数を超えて印刷しています。	ジョブを終了します。
［紙づまりが発生しました］ ［紙づまりです 用紙を取り除いてください］	紙づまりが発生し、コピーができません。	つまっている用紙を取除いてください。
［原稿を再度セットしてください］ ［以下の原稿枚数を戻してください xxx］	紙づまり処理が終わったあと、ADF から排紙された原稿を戻す必要があるときに表示されます。	表示枚数の原稿を ADF にセットしなおしてください。
［ジョブ登録数オーバー］ ［ジョブの登録が上限値です 登録中のジョブが終了するまでしばらくお待ちください］	登録されているジョブの上限をこえています。	終了するまで待つか、現在のジョブを削除してください。
［不正アクセスのためロックされています 管理者に連絡してください］	認証に指定回数連続失敗したため、認証情報が無効となっています。	本機の電源を OFF/ON します。**電源スイッチ**を OFF にして、10 秒以上経過してから ON にしてください。
	認証に指定回数連続失敗したため、管理者パスワードが無効となっています。	
［サービスコール］ ［エラーが発生しました。 主電源を OFF/ON するか、サービスに以下のトラブルコードを連絡してください。 xxx］	本機に何らかのトラブルが発生し、コピーできません。	画面のメッセージにしたがってトラブル処理をしてください。処理または解除できない場合は、画面に表示されているトラブルコードをサービス実施店にご連絡ください。

メッセージ	原因	処理のしかた
以下の消耗品に対する交換メッセージが表示された場合 ・ ドラムユニット ・ 定着ユニット ・ 現像ユニット ・ 現像剤	消耗品の交換時期です。 または消耗品の交換時期を超えて使用しています。	サービス実施店にご連絡ください。

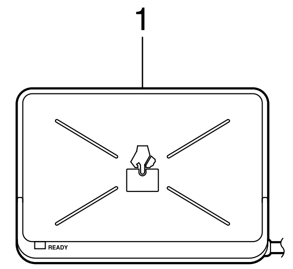
タッチパネル内で表示されるアイコンについて

アイコン	説明
	画面が複数ある場合、ページを切換えます。 ［↑］と［↓］の間の数値は、画面の「現在のページ数 / 総ページ数」を示しています。
	複数のタブがある場合、タブの表示を切換えます。
	設定値を増減します。
	設定値を増減します。
	エラー発生時に表示されます。アイコンを押すと、エラー画面が表示されます。
	表示中の機能や設定のヘルプが表示されます。
	本機に登録されている宛先が表示されます。短縮宛先やグループ宛先を指定できます。
	コピー動作中に表示されます。
	原稿の読込み動作中に表示されます。
	印刷動作中に表示されます。
	ファクス（G3）回線の使用中に表示されます。
	タイマー送信機能により送信予約したジョブがあるときに表示されます。
	強制メモリー受信機能や PC-FAX 受信機能により本機の SSD に保存された文書があるときに表示されます。
	本機から送信しているときに表示されます。
	本機が受信しているときに表示されます。
	セキュリティー強化モードが設定されているときに表示されます。
	外部メモリーが接続されているときに表示されます。
	サービスエンジニアによって交換する部品が交換時期に達したときに表示されます。サービス実施店にご連絡ください。

9 認証装置

9 認証装置

認証装置 AU-201 について説明します。



1. 認証装置 AU-201

9.1 認証装置の使い方

認証装置 AU-201 は、IC カードの読取りにより個人認証を行う「IC カード認証」のシステムです。ユーザー認証が設定されている本機で、本機へのログインやプリントジョブの印刷を IC カードによる認証で行うことができます。

認証装置を使用するために必要な登録および設定は、本機管理者が行います。登録状況について詳しくは本機管理者にご確認ください。

本機管理者は、認証装置を使用するための登録および設定をあらかじめ行っておいてください。登録および設定の方法について詳しくは、［ユーザーズガイド 管理者機能編］をごらんください。

重要
認証装置 AU-201 は、ワーキングテーブル WT-510 の内部に取付けて使用します。

認証装置を使用中に USB ケーブルを抜かないでください。システムが不安定になる場合があります。

IC カードは、カード読取部から 40 mm 以内に近づけたまま放置しないでください。

本機へのログイン

IC カードによる認証で、本機にログインする方法を説明します。

- ICカードで認証を行う場合は、あらかじめ本機管理者がPageScope Web ConnectionでICカード機能を有効にし、なおかつ IC カードに記録された情報を本機に登録する必要があります。詳しくは本機管理者にご確認ください。
- 認証の失敗が多く発生する場合は、正しく IC カードの情報が登録されていない可能性があります。本機管理者にご確認ください。
- IC カード認証の場合は、IC カードを置くだけで認証されます。IC カード＋パスワード認証の場合は、IC カードを置き、［パスワード］を入力することで認証されます。
- 認証装置を使用せず、［ユーザー名］と［パスワード］を入力して［ログイン］する場合は、［本体認証］を押してください。

IC カードによる認証のしかた

本機管理者によって以下の機能が設定されている場合に有効となります。

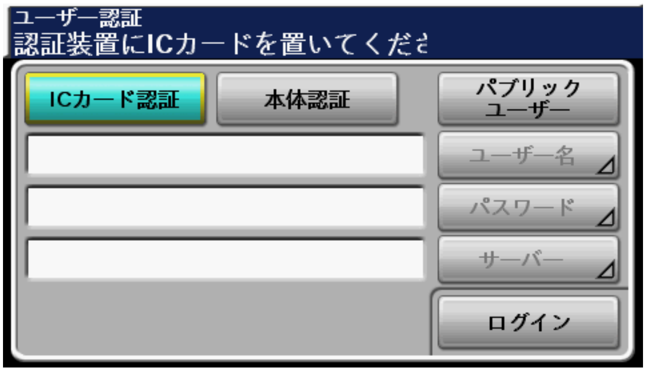
PageScope Web Connection

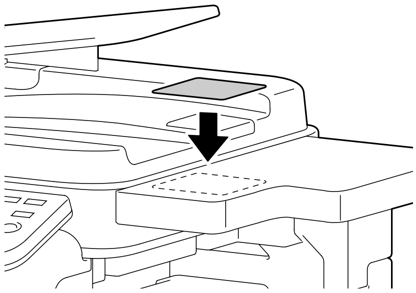
- ［管理者モード］▸▸［セキュリティ］▸▸［認証デバイス設定］で［認証タイプ］が［カード認証］に設定されている場合

操作パネル

- **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［認証設定］▸▸［IC カード認証］でユーザーの IC カード情報が登録されている場合

➔ **ワーキングテーブル WT-510** に IC カードを置きます。





ホーム画面が表示されます。

IC カード + パスワードによる認証のしかた

本機管理者によって以下の機能が設定されている場合に有効となります。

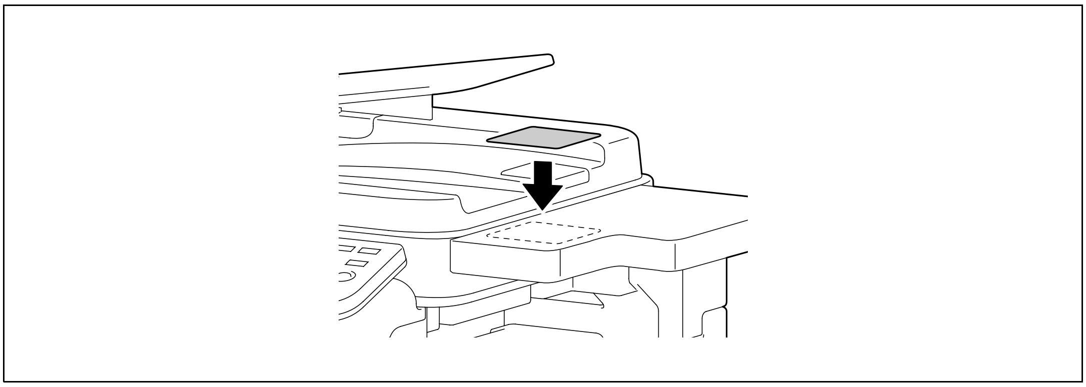
PageScope Web Connection

- ［管理者モード］▸▸［セキュリティ］▸▸［認証デバイス設定］で［認証タイプ］が［カード認証 + パスワード］に設定されている場合

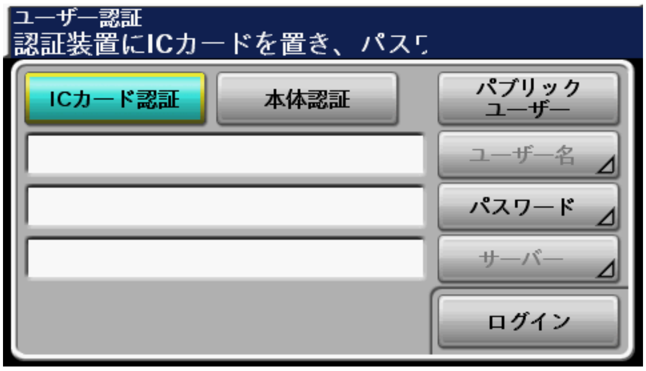
操作パネル

- **設定メニュー / カウンター** ▸▸［管理者設定］▸▸［認証設定］▸▸［IC カード認証］でユーザーの IC カード情報が登録されている場合

1　ワーキングテーブル WT-510 に IC カードを置きます。



2　［パスワード］を押し、パスワードを入力します。



3　［ログイン］または ID を押します。

ホーム画面が表示されます。

10 仕様

10 仕様

用紙、本体、オプションの仕様について説明します。

この製品仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

10.1 用紙について

用紙種類および用紙容量

用紙種類	用紙坪量	用紙容量
普通紙 片面専用用紙 *1 特殊紙 *2 レターヘッド紙 *3 色紙 *4	60 g/m^2 ～ 90 g/m^2	**トレイ 1（手差しトレイ）**：150 枚 **トレイ 2**：500 枚 **トレイ 3**：500 枚 **給紙キャビネット PC-211**：500 枚
厚紙 1	91 g/m^2 ～ 150 g/m^2	**トレイ 1（手差しトレイ）**：20 枚
厚紙 2	151 g/m^2 ～ 210 g/m^2	**トレイ 1（手差しトレイ）**：20 枚
OHP フィルム	－	**トレイ 1（手差しトレイ）**：20 枚
はがき	－	**トレイ 1（手差しトレイ）**：20 枚
封筒	－	**トレイ 1（手差しトレイ）**：10 枚

*1 両面に印刷したくない用紙（すでに 1 面目に印刷がされている用紙など）。

*2 上質紙などの特別な用紙。

*3 あらかじめ社名や定型文などが印刷された用紙。

*4 カラーペーパーなど色が付いた用紙。

重要
特殊紙や色紙など、普通紙以外の用紙を専用紙と呼びます。給紙トレイに特殊紙や色紙などをセットした場合、必ず正しい種類の専用紙に設定してください。
用紙サイズや用紙種類が正しく設定されていない場合、紙づまりや画像不良の原因となります。

トレイ 1（手差しトレイ）では、普通紙（両面 2 面目）を設定できます。両面 2 面目は、片面に印刷された用紙をセットする場合に選択します。

10.2 本体仕様

bizhub 36

仕様

形式	スキャナー・プリンター 一体卓上型／自立型	
原稿台方式	原稿台固定方式（ユニットスキャン）	
感光体	OPC	
光源	CCFL Dual （冷陰極蛍光ランプ）	
複写方式	レーザー静電複写方式	
現像方式	乾式 2 成分 HMT 現像方式	
定着方式	ローラー定着方式	
解像度	読取り	600 dpi × 1,200 dpi
	出力	600 dpi × 600 dpi
複写原稿	種類	シート、ブック（見開き）、立体物
	サイズ	最大 A4（8-1/2 × 14）
	重量	3 kg（立体物）
複写紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙 1* （91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）、厚紙 2* （151 g/m^2 ～ 210 g/m^2）、レターヘッド紙、色紙、OHP フィルム *、はがき *、封筒 * 両面：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2） * **トレイ 1（手差しトレイ）**のみ使用可能です。	
複写紙サイズ	< **トレイ 2/ トレイ 3**> A4、B5、A5、8-1/2 × 11 < **トレイ 1（手差しトレイ）**> A3 *1、B4 *1、A4、B5、A5、B6、A6、はがき（100 mm × 148 mm）、11 × 17 *1、8-1/2 × 14、8-1/2 × 11 /、10-1/2 × 7-1/4、5-1/2 × 8-1/2、8 × 13 *2、8K *1、16K 幅：90 mm ～ 297 mm、長さ：140 mm ～ 356 mm（432 mm *1） *1 プリンタードライバーおよび USB メモリーからの印刷指示のみ対応します。 *2 Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2、220 mm × 330 mm、8-1/2 × 13、8-1/4 × 13、8-1/8 × 13-1/4、8 × 13 の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。	
排紙トレイの積載枚数	普通紙	250 枚
	厚紙	10 枚
	OHP フィルム	1 枚
用紙収容枚数（A4）	**トレイ 2/ トレイ 3**	普通紙：500 枚
	トレイ 1（手差しトレイ）	普通紙：150 枚、厚紙 1/2：20 枚、OHP フィルム / はがき：20 枚、封筒：10 枚
ウォームアップタイム	**電源スイッチ**を ON にして、印刷可能な状態になるまでの時間（室温 23 ℃） 45 秒以下 ウォームアップタイムは、使用環境や利用状況によって異なる場合があります。	
画像欠け幅	先端	4.2 mm
	後端	3.0 mm
	右端	3.0 mm
	左端	3.0 mm
ファーストコピータイム（A4 印刷時）	8.7 秒以下	

仕様

コピースピード（A4 印刷時）	片面	36 枚 / 分（厚紙 1/2：12.5 枚 / 分）
	両面	36 面 / 分
複写倍率	等倍：100.0% ± 0.5% 以下 拡大：115.4%、122.4%、141.4%、163.1%、200.0% 縮小：50.0%、70.7%、81.6%、86.6% フリー設定：25.0%～ 400.0%（0.1%ステップ）	
連続複写枚数	1 枚～ 999 枚	
濃度調整	コピー濃度	マニュアル濃度調整（9 段階）
	下地濃度	マニュアル濃度調整（9 段階）
電源	AC 100 V, 15 A, 50/60 Hz	
最大消費電力	1500 W	
大きさ	幅 558 mm × 奥行 632 mm × 高さ 807 mm（ADF 含む）	
機械占有寸法	幅 1,173 mm × 奥行 1,187 mm × 高さ 1,363 mm フィニッシャー FS-529 の補助トレイ、給紙トレイを引出し、ADF を開いた状態の寸法です。	
メモリー容量	1.5 GB	
ハードディスク容量	320 GB	
SSD	2 GB	
質量	約 63 kg	

自動両面ユニット

仕様

用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
用紙サイズ	A3 [*1]、B4 [*1]、A4 、B5 、A5 、11 × 17 [*1]、8-1/2 × 14 、8-1/2 × 11 /、10-1/2 × 7-1/4 、5-1/2 × 8-1/2 、8 × 13 [*2]、8K [*1]、16K 幅：140 mm ～ 297 mm 、長さ：158 mm ～ 356 mm（432 mm[*1]） [*1] プリンタードライバーおよび USB メモリーからの印刷指示のみ対応します。 [*2]Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2 、220 mm × 330 mm 、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。
電源	本体から供給

自動両面原稿送り装置

仕様

原稿通紙機能	片面原稿、両面原稿、混載原稿	
原稿種類	片面	普通紙（50 g/m^2 ～ 128 g/m^2）
	両面・混載	普通紙（50 g/m^2 ～ 128 g/m^2）
原稿サイズ	片面原稿／両面原稿：A4 、B5 、A5 、8-1/2 × 14 、8-1/2 × 11 、10-1/2 × 7-1/4 、5-1/2 × 8-1/2	
	混載原稿については、レターサイズ（8-1/2 × 11 ）とリーガルサイズ（8-1/2 × 14 ）の混載のみ可能	
原稿積載量	片面原稿／両面原稿：最大 50 枚以下（80 g/m^2）	
電源	本体から供給	

10.3 オプション仕様

給紙キャビネット PC-211

仕様

用紙種類	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）
用紙サイズ	< **トレイ 4/ トレイ 5**> A4 、B5 、A5 、8-1/2 × 14 、8-1/2 × 11 /、8 × 13 *、16K *Foolscap には、8-1/2 × 13-1/2 、220 mm × 330 mm、8-1/2 × 13 、8-1/4 × 13 、8-1/8 × 13-1/4 、8 × 13 の 6 種類があります。いずれか 1 種類が選択可能です。詳しくはサービス実施店にお問い合わせください。
収容枚数	上段（**トレイ 4**） 普通紙：500 枚 下段（**トレイ 5**） 普通紙：500 枚
電源	本体から供給
最大消費電力	15 W 以下
大きさ	幅 640 mm × 奥行 696 mm × 高さ 372 mm
質量	約 30 kg
ユニット構成	給紙トレイ 2 段

フィニッシャー FS-529

仕様

排紙トレイ	**第 1 排紙トレイ**（エレベートトレイ）			
通紙機能	グループ、ソート、仕分けグループ、仕分けソート、ステープル			
用紙種類	グループ / ソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 210 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、レターヘッド紙 仕分けグループ / 仕分けソート：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 210 g/m^2） ステープル：普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）、厚紙（91 g/m^2 ～ 150 g/m^2）* * 表紙のみ使用可能です。プリンタードライバーからの印刷指示のみ対応します。			
用紙サイズ	グループ／ソート： A3 ▭*、B4 ▭*、A4 ▯、B5 ▯、A5 ▭、B6 ▭、A6 ▭、はがき（100 mm × 148 mm）▭、11 × 17 ▭*、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭/▯、10-1/2 × 7-1/4 ▯、5-1/2 × 8-1/2 ▭ 幅：90 mm ～ 297 mm、長さ：140 mm ～ 356 mm（432 mm*） 仕分けグループ／仕分けソート／ステープル： A3 ▭*、B4 ▭*、A4 ▯、B5 ▯、11 × 17 ▭*、8-1/2 × 14 ▭、8-1/2 × 11 ▭/▯、10-1/2 × 7-1/4 ▯ 幅：216 mm ～ 297 mm、長さ：182 mm ～ 356 mm（432 mm*） * プリンタードライバーおよび USB メモリーからの印刷指示のみ対応します。			
用紙積載量	グループ／ソート	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）	A4、8-1/2 × 11 以下	300 枚
			B4、8-1/2 × 14 以上	250 枚
		厚紙（91 g/m^2 ～ 210 g/m^2）、OHP フィルム、はがき、封筒、レターヘッド紙		10 枚
	仕分けグループ／仕分けソート	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）	A4、8-1/2 × 11 以下	300 枚
			B4、8-1/2 × 14 以上	250 枚
		厚紙（91 g/m^2 ～ 210 g/m^2）		10 枚
	ステープル	普通紙（60 g/m^2 ～ 90 g/m^2）	A4、8-1/2 × 11 以下	300 枚または 30 部
			B4、8-1/2 × 14 以上	250 枚または 30 部
	積載高さ：37 mm			
ステープル最大とじ枚数	A4、8-1/2 × 11 以下	50 枚		
	B4、8-1/2 × 14 以上	30 枚		
	とじ枚数例：厚紙（120 g/m^2）2 枚＋普通紙（80 g/m^2）48 枚 * * B4、8-1/2 × 14 以上の場合は 28 枚。 プリンタードライバーからの印刷指示のみ対応します。			
シフト量	30 mm			
電源	本体から供給			
最大消費電力	56 W 以下			
大きさ	幅 471（654）mm × 奥行 566 mm × 高さ 147 mm （ ）はトレイ引出し時			
質量	約 12 kg			
消耗品	ステープル針 SK-602 EH-590 用（製品番号 No.505 マックス社）（5000 針入り）× 1 個			

認証装置 AU-201

仕様

名称		AU-201
寸法（mm）		約 92（W）× 64（D）× 16（H）
質量（g）		約 120
電源		USB ポートより受電
環境条件（動作時）	周辺温度（℃）	0 ～ 40
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
環境条件（非動作時）	周辺温度（℃）	-20 ～ 50
	湿度（%）	20 ～ 85（ただし結露しないこと）
電波法区分		誘導式読み書き通信設備
適用カード		ISO 14443 TypeA、FeliCa 準拠非接触 IC カード、HID iClass
取得規格		VCCI クラス B
対応コンピューター	CPU	PC/AT 互換、1GHz 以上
	メモリー	128 MB 以上
	HDD	空き容量：100 MB 以上
	ディスプレイ	800 × 600 ピクセル、16 ビットカラー以上
	ネットワーク	TCP/IP プロトコル
	アプリケーション	Microsoft Internet Explorer 6.0（SP1）以降 Microsoft .NET Framework （SP1）以降
	インターフェース	USB 1.1 以上
対応 OS		Windows XP Professional Edition （SP2） Windows Vista Business/Enterprise

11 付録

11 付録

11.1 用語集

コピー機能に使われる用語について説明します。

	用語	説明
アルファベット	ADF	**自動両面原稿送り装置**のことです。原稿を自動で読込ませることができます。(ADF = Automatic document feeder)
	[ID コピー]	保険証や免許証、名刺など各種カードの表裏を別々に読込み、1 枚の用紙に並べてコピーできます。カードをそのままのサイズでコピーしたり、用紙に合わせ拡大してコピーしたりできます。カードコピーを使用すると、用紙の使用枚数を節約できます。
か行	[確認コピー]	大量部数のコピーをするとき、1 部のみを仕上げていったん停止させる機能です。大量のミスコピーを未然に防止できます。
	[片 / 両面 集約]	原稿の読込み面と用紙の印刷したい面を片面にするか、両面にするか指定する機能です。
	[グループ] (コピー / 仕上り)	コピーをページ単位で出力する機能です。1 ページ目が指定した部数分出力されたあと、2 ページ目が指定した部数分出力されます。
	[原稿画質]	原稿の文字や画像のタイプに合わせて機能を選択し、よりよいコピー画質に調整できる機能です。
	[原稿セット方向]	ADF や**原稿ガラス**にセットした原稿のセット方向を設定する機能です。
	[原稿とじしろ]	両面原稿を読込んでコピーする場合、原稿画像の上下が逆になってコピーされないように原稿開き方向(原稿のとじしろ)を指定してコピーできます。
	混載原稿	異なるサイズが混じった原稿を、**自動両面原稿送り装置**にセットしても、原稿ごとに原稿サイズを検知し、適正な用紙にコピーされる機能です。レターサイズとリーガルサイズの同幅(8-1/2 インチ)原稿のみ対応します。
	[コントラスト]	コントラストの濃淡を調整する機能です。
さ行	[仕上り]	コピーを排紙トレイに出力するときの仕分け方法や仕上り方法を設定できます。
	[下地調整]	下地に色がついている原稿の下地濃度を調整する機能です。下地調整レベルを設定してコピーする機能です。
	自動(倍率)	ADF や**原稿ガラス**に原稿をセットし、用紙のサイズを選択すると、適正な倍率を自動で選択する機能です。
	自動(用紙)	等倍のときは同じサイズの用紙を、変倍のときは倍率に対応したサイズの用紙を自動で選択する機能です。
	[シャープネス]	文字のエッジ部分を強調して、読みやすくする機能です。また、原稿の印象を調整する機能です。
	集約	1 枚の用紙に、複数の原稿を縮小し並べてコピーする機能です。集約する枚数により 2in1、4in1 の機能を選択できます。
	[仕分け]	コピーを仕分けして出力する機能です。
	[ステープル]	コピー書類を止め金でとじる機能です。
	[選択トレイの設定変更]	給紙トレイにセットされていない用紙サイズや、普通紙以外の用紙にコピーする設定ができます。
	[ソート] (コピー / 仕上り)	コピーを部数単位で出力する機能です。1 部目が出力されたあと、2 部目のコピーが出力されます。
た行	[小さめ]	原稿の画像をわずかに縮小し、用紙の中央に配置してコピーする機能です。
な行	[濃度]	印刷画像濃度を 9 段階で設定してコピーする機能です。

	用語	説明
は行	倍率	コピー倍率を変更できます。
	普通紙（両面 2 面目）	片面に印刷されている用紙を使用して印刷するとき設定します。
	［フリー設定］	セットした原稿をテンキーで指定した倍率で拡大／縮小し、用紙にコピーする機能です。
や行	［用紙設定］	印刷する用紙の種類とサイズを設定できます。
ら行	［連続読込み設定］	原稿の枚数が ADF にセットできる最大枚数（50 枚）を超える場合に、原稿をいくつかに分けて読込む機能です。原稿を読込ませ、ひとつのコピージョブとして一括してコピーできます。また、途中で**原稿ガラス**にセットして読込ませたり、ADF に切換えることもできます。

12 索引

12 索引

12.1 項目別索引

A
ADF カバー 2-3
C
C（クリア） 4-4
E
E-mail 4-6
E-mail 送信 2-8
F
FAX キット 2-2
I
ID 4-12
ID コピー 5-15
U
USB ポート（タイプ A）USB2.0 2-3
USB ポート（タイプ B）USB2.0 2-4
USB/HDD 2-8
あ行
アイコン 8-9
アイコン表示エリア 2-8
エラーランプ 2-6
オプション構成 2-2
オプション仕様 10-5
か行
回線コネクター（LINE） 2-4
確認コピー 5-13
片 / 両面 集約 5-7
紙づまり処理ダイアル 2-10
環境設定 6-3
外装カバー 7-11
ガイド板 2-3
画質調整 5-18
機能キー 2-6
給紙キャビネット 2-2, 10-5
給紙ローラー 7-10
グループ 5-11
原稿押さえパッド 2-5, 7-11
原稿画質 5-10
原稿ガラス 2-5, 7-10
原稿給紙トレイ 2-3
原稿スケール 2-5
原稿ストッパー 2-3
原稿セット 3-3
原稿排紙トレイ 2-3
交換メッセージ 7-6
コピー 2-8, 4-6
コピー機能 5-2
コピー設定 6-5
コピー枚数 2-8
コピーモードの設定機能 2-8
混載原稿 5-3
さ行
サービスコール 8-2
削除 4-11
仕上り 5-11
消耗品確認 7-6
仕様 10-2
仕分け 5-11
自動（倍率） 5-6
自動（用紙） 5-4
自動両面原稿送り装置 2-3, 10-4
自動両面ユニット 2-3, 10-4
自動両面ユニットロック解除レバー 2-3
状態 2-8
除湿ヒーター電源スイッチ 2-4
ジョブ 2-8, 5-20
スキャナユニット 2-5
スキャナロックレバー 2-5
スキャン設定 6-6
スタート 4-4
ステープル 5-11
ストップ 4-4
スリープモード 4-4
スリットガラス 2-5, 7-10
清掃 7-10
セールスカウンター 7-9
設定内容 2-8, 5-19
設定メニュー / カウンター 4-8
専用デスク 2-2
総印刷ページ数 7-9
操作パネル 2-3, 2-6, 4-2, 7-10
ソート 5-11
外付け電話機接続用コネクター（TEL） 2-4
た行
タッチパネル 2-6, 2-8
定着カバーレバー 2-5
定着ユニット 2-5
定着ユニット上カバー 2-5
低電力モード 4-4
テンキー 2-6
データランプ 2-6
電源コード 2-4
電源スイッチ 2-4

トータルカウンター 2-5
とじしろ 5-17
トナー残量表示 2-8
トナーボトル 2-5
トラブル処理 8-2
トラブルリスト 8-3
取り付けキット 2-2
トレイ 1（手差しトレイ）........................ 2-3, 7-4
トレイ 2 .... 2-3, 7-3
トレイ 3 .... 2-3, 7-3
トレイ 4 .... 2-3, 7-3
トレイ 5 .... 2-3, 7-3
ドラムユニット 2-5

な行

名前 4-11
認証装置 2-2, 9-2, 10-7
ネットワーク用ポート 2-4
濃度 5-9

は行

排紙トレイ 2-3, 2-10
倍率設定 5-6
パワーセーブ 4-4
ファイル送信 2-8
ファクス 2-8, 4-7
ファクス設定 6-8
フィニッシャー 2-2, 10-6
フィニッシャー FS-529 2-10
フォルダ 4-6
不定形サイズ 5-5
部門認証 4-12
プリンター設定 6-7
プログラム 4-11
ヘルプ 2-8, 3-7
ホーム 2-8
補給メッセージ 7-2
補助トレイ 2-10
本体外部（前面）.. 2-3
本体外部（背面）.. 2-4
本体仕様 10-3
本体内部 2-5

ま行

前ドア 2-3
マニュアルホルダー 2-4
右上ドア 2-3
右上ドア解除レバー 2-3
メッセージ表示エリア 2-8
メンテナンス 7-2

や行

ユーザー設定 6-2
ユーザー認証 4-12
ユニバーサル設定 4-9
用紙 7-2, 10-2
用紙エンプティーランプ 2-3
用紙種類 10-2
用紙設定 5-4
用紙セット 7-3
用紙容量 10-2
読込みサイズ 5-3

ら行

リセット 4-4
連続読込み設定 5-14
ロック解除レバー 2-5

わ行

ワーキングテーブル 2-2
割込み 4-14

12.2 キー索引

Numerics
2 in 1 5-7
2 点 5-12
4 in 1 縦順 5-8
4 in 1 横順 5-7

C
C 4-4

E
E-mail 4-6

I
IC カード認証 4-13
ID 4-12
ID コピー 5-15

L
LCD 輝度 4-10

X
X/Y 5-5

あ行
宛先登録 4-8
印刷 5-20
印刷開始 4-13
オートカラーレベル 6-3
音設定 4-9

か行
確認コピー 5-13
片 / 両面 集約 5-7
片面>片面 5-7
片面>両面 5-7
環境設定 6-3
管理者設定 4-8
画質調整 5-18
キーリピート開始 / 間隔時間 4-9
基本画面へ 4-13
給紙トレイ自動切換え 6-3
給紙トレイ自動選択 6-3
給紙トレイ設定 6-3
グループ 5-11
原稿画質 5-10
原稿セット方向 5-8
原稿とじしろ 5-8
言語選択 6-3
コーナー 5-12
コピー 4-6
コピー初期設定 6-5
コピー設定 6-5
コピー開き方向 5-8
コントラスト 5-18

さ行
サーバー 4-13
削除 5-20
仕上り 5-11
下地調整 5-18
シャープネス 5-18
写真 5-10
集約 5-7
集約倍率 6-5
詳細 4-11, 5-20
仕分け 5-11
実行中 5-20
自動（倍率）........ 5-6
自動（用紙）........ 5-4
受信 5-20
ジョブ 5-20
スキャン設定 6-6
スタート 4-4
ステープル 5-12
ストップ 4-4
セールスカウンター 4-8, 7-9
設定内容 5-19
設定メニュー / カウンター 4-8
選択トレイの設定変更 5-4
送信 5-20
ソート 5-11
ソート / グループ 5-11

た行
タッチパネル調整 4-10
単位系設定 6-3
小さめ 5-6
定形サイズ 5-3
手差しトレイ 5-4
等倍 5-6
登録先 4-11
登録倍率 5-6
とじしろ 5-17
トレイ 2 5-4
トレイ 3 5-4
トレイ 4 5-4
トレイ 5 5-4

な行
濃度 5-9

は行
倍率設定 5-6
パスワード 4-13
パブリックユーザー 4-13
パワーセーブ 4-4
標準 5-9
開き方向 / とじ方向 5-8
ファクス 4-7
ファクス設定 6-8
フォルダ 4-6
不定形サイズ 5-3, 5-5

フリー設定 5-6
部門 4-13
プリンター設定 6-7
プログラム 4-11
ヘルプ 3-7
保存 5-20
本体認証 4-13

ま行

メッセージ表示時間 4-10
文字 5-10
文字 / 写真 5-10

や行

ユーザー設定 4-8, 6-2
ユーザー名 4-13
ユニバーサル設定 4-8, 4-9
用紙設定 5-4
読込みサイズ 5-3

ら行

リセット 4-4
両面>片面 5-7
両面>両面 5-7
両面印刷 5-7
履歴 5-20
連続読込み設定 5-14
連続読込み方法 6-5
ログイン 4-13

わ行

割込み 4-14

お問い合わせは

■ 販売店連絡先

《販売店　連絡先》

販売店名

電話番号

担当部門

担当者

■ 保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ

この商品の保守・操作方法・修理・サポートについてのお問い合わせは、お買い上げの販売店、サービス実施店にご連絡ください。

《保守・操作・修理・サポートのお問い合わせ先》

TEL

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

〒103-0023　東京都中央区日本橋本町1丁目5番4号

当社についての詳しい情報はインターネットでご覧いただけます。　**http://bj.konicaminolta.jp**

当社に関する要望、ご意見、ご相談、その他お困りの点などございましたら、お客様相談室にご連絡ください。
お客様相談室電話番号　フリーダイヤル：0120-805039（受付時間 ： 土、日、祝日を除く9:00～12:00 / 13:00～17:00）

KONICA MINOLTA

国内総販売元
コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社

製造元
コニカミノルタ ビジネステクノロジーズ株式会社
〒100-0005 東京都千代田区丸の内一丁目6番1号 丸の内センタービルディング